



神奈川県  
精神医療センター

平成20年度

# 精神医療センター業務年報

---

(芹香病院・せりがや病院)

平成21年10月

# 目 次

## I 概 況

1 基本理念	1
2 沿革	1
3 組織・機構	4
4 職員配置状況	5
5 施設	7
施設配置図	8
6 主な委員会・会議一覧	9

## II 芹香病院事務事業の状況

1 芹香病院基本方針	11
2 経理の状況	
(1) 病院事業会計決算状況	12
3 業務実績	
(1) 各種指標	13
4 患者の状況	
(1) 外来患者の状況	14
(2) 入院患者の状況	16
(3) 救急医療の状況	22
5 業務の状況	
(1) 看護	23
(2) 作業療法	29
(3) デイ・ケア療法	32
(4) 検査業務	36
(5) 地域医療相談室業務	40
(6) 薬剤業務	45
(7) 医療教育	47
(8) 栄養業務	48
(9) 保育業務	50

### Ⅲ セリがや病院事務事業の状況

1	セリがや病院基本方針	51
2	経理の状況	
(1)	病院事業会計決算状況	51
3	業務実績	
(1)	各種指標	52
4	患者の状況	
(1)	外来患者の状況	53
(2)	入退院患者の状況	56
5	業務の状況	
(1)	看護	62
(2)	心理・相談業務	65
(3)	医療教育及び講師派遣	66
(4)	薬剤業務	67
(5)	栄養業務	68

(注) 本年報の表は原則として平成21年3月31日をもって作成してあります。例外については、本文中に基準年月日を表示してあります。

# I 概 況

# 1 基本理念

患者様やご家族に信頼される心あたたかい医療を提供し、神奈川県の精神医療の発展に努めます。

# 2 沿革

当センターは精神病院法に基づくわが国3番目の府県立精神病院として昭和4年3月から診療を開始した芹香院と、昭和38年4月全国にさきがけ麻薬中毒患者専門医療施設として収容治療を開始し、その後神経症、アルコール依存症、薬物中毒等の患者を対象に治療を行ってきたせりがや園を統合して、平成2年4月神奈川県立精神医療センターに組織を改正した。その際名称も芹香病院、せりがや病院に改称し、精神科診療業務を行っている。開設以来の主たる変遷は次のとおりである。

## 【芹香院】

昭和3年11月	本館及び病棟5棟 付属建物を含め延べ3,606㎡の施設完成
4年3月	診療開始(150床)
35年7月	第1、第2病棟完成(現作業療法棟2,207.05㎡)
39年4月	地方公営企業法(企業会計方式)の一部適用
46年8月	子供預り施設新築
11月	C病棟、管理診療棟、サービス棟新築
48年1月	A病棟、B病棟、社会療法棟、喫茶売店棟、車庫棟新築
3月	温室及び看護婦宿舎新築
6月	作業療法棟改築
7月	事務局に医事課を新設
8月	事務局に栄養課を新設、医療局を部長制とし、作業療法科を新設、看護部に看護教育係を新設
50年7月	せりがや地区第一医療職員公舎完成
54年3月	A、B、C各病棟の2、3階に消防用スプリンクラー設備設置
10月	A3病棟を開棟
55年8月	事務局が総務局に、管理課が総務課に改称、総務局次長(総務課長兼務)新設
56年7月	保育施設改修
10月	芹香院作業療法用農場(27アール)整備工事完成
57年1月	身体障害者用便所、管理診療棟1箇所、A病棟1箇所完成
58年11月	緊急医療対策用保護室改修
60年9月	デイ・ケア施設改修
62年4月	医療局にデイ・ケア科を新設
	夜間、休日の緊急医療開始
12月	外来受付室、待合室改修
平成元年3月	保護室(6室)、静養室(16室)改修
2年1月	保護室(8室)改修

## 【せりがや園】

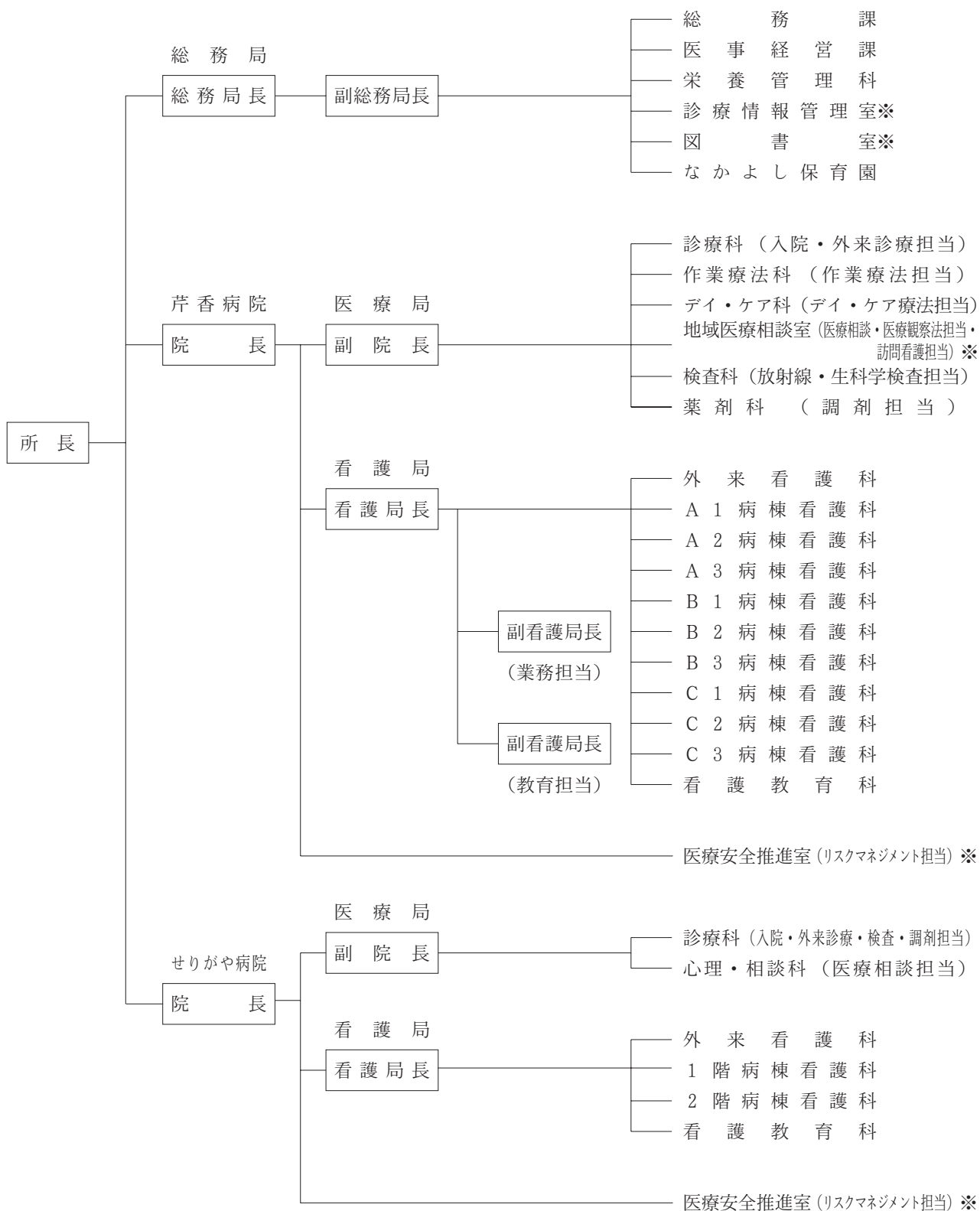
- 昭和38年 1月 本館新設（サーモコン2階建）
- 3月 厨房棟新築（コンクリート鉄骨平屋建）
- 4月 診療開始（70床）
- 39年 4月 地方公営企業法（企業会計方式）の一部適用
- 43年 7月 本館増築工事等  
病棟、管理部門の改修
- 52年 4月 病床数（64床）変更

## 【精神医療センター】

- 平成2年 4月 芹香院とせりがや園を、精神医療センターに組織改正、センター所長職の設置、芹香院を芹香病院に、せりがや園をせりがや病院に改称、精神医療センター総務局に総務課、経理課、医事課及び栄養課設置  
せりがや病院の医療局に心理・相談科、看護部に外来看護係、看護教育係を新設
- 9月 せりがや病院新築（80床）
- 3年 4月 芹香病院A1病棟を老人性痴呆専門治療病棟（44床）に改修  
芹香病院B3病棟の一部を改築（結核合併症病棟16床、精神科病棟31床）
- 4年 4月 芹香病院B2病棟保護室（4室）改修
- 5年 2月 せりがや病院 基準看護結核・精神特2類承認
- 3月 芹香病院 基準看護結核・精神特2類承認
- 6年 3月 看護婦共同宿舎、看護士宿舎、職員公舎一戸解体  
芹香病院C1病棟に消防用スプリンクラー設備設置
- 10月 芹香病院、せりがや病院新看護体系3：1承認
- 7年 3月 芹香病院B1病棟に消防用スプリンクラー設備設置  
C棟外壁塗装、屋上防水塗装工事完成
- 7年 5月 せりがや病院 特別管理給食加算（適時適温給食）実施
- 8年 3月 芹香病院A1病棟に消防用スプリンクラー設備設置  
芹香病院A2病棟に感染症隔離室（2室）設置  
芹香病院A3病棟に救急用保護室（4室）、静養室（3室）設置
- 8年 4月 芹香病院病床数（497床）変更  
芹香病院 精神科救急医療開始  
選択メニュー給食の実施
- 10年12月 職員公舎3戸解体
- 12年 7月 芹香病院 特別管理給食加算（適時適温給食）実施
- 12月 第1医療職員公舎解体
- 14年 4月 芹香病院 精神科救急医療 24時間体制開始（8床）
- 15年 4月 芹香病院 精神科 救急病棟開設（B-1病棟 26床）  
芹香病院 病床数（445床）変更
- 15年 9月 芹香病院 応急入院指定病院（1床）
- 15年10月 芹香病院 精神科急性期治療病棟（B1）入院科1適用承認  
芹香病院 紹介患者加算5実施

平成16年 4月	<p>芹香病院 精神科救急入院科（B1病棟26床）適用承認</p> <p>芹香病院 精神科救急入院施設管理加算（A1病棟を除く）適用承認</p> <p>芹香病院 医療保護入院等診療科適用承認</p> <p>せりがや病院 医療保護入院等診療科適用承認</p> <p>芹香病院 褥瘡患者管理加算適用承認</p>
6月	芹香病院 療養環境加算（A1・B2病棟）適用承認
9月	芹香病院 夜間勤務等看護加算（A1病棟）
17年 4月	<p>地方公営企業法全部適用</p> <p>精神医療センターの組織再編成 看護部を看護局と改称、経理課及び医事課を医事経営課に統合、栄養課を栄養管理科に改称、各看護係を看護科と改称、各病院内に医療安全推進室を設置、芹香病院診療科内の医療相談室を地域医療相談室と改称</p>
12月	<p>芹香病院 日本医療機能評価機構認定病院となる</p> <p>せりがや病院 日本医療機能評価機構認定病院となる</p>
18年 1月	<p>芹香病院 診療録管理体制加算</p> <p>せりがや病院 診療録管理体制加算</p>
4月	<p>芹香病院 15対1精神病棟入院基本料（A1病棟及びB1病棟を除く）</p> <p>芹香病院 老人性認知症疾患治療病棟入院料1（A1病棟）</p> <p>芹香病院 医療安全対策加算</p> <p>芹香病院 臨床研修病院入院診療加算</p> <p>芹香病院 栄養管理実施加算</p> <p>せりがや病院 15対1精神病棟入院基本料</p> <p>せりがや病院 栄養管理実施加算</p>
8月	芹香病院 精神科ショート・ケア「大規模なもの」
9月	<p>芹香病院 指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定</p> <p>せりがや病院 指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定</p>
12月	芹香病院 特定病院認定
19年 5月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料2適用承認
8月	せりがや病院 精神科作業療法適用承認
20年 3月	<p>芹香病院 老人性認知症専門病棟（A1病棟）閉床</p> <p>芹香病院 生活訓練・短期静養病棟（C1病棟）閉床</p>
4月	<p>芹香病院 ストレスケア病棟（A2病棟）開床</p> <p>芹香病院 精神科地域移行実施加算</p>
8月	芹香病院 看護補助加算1
21年 2月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料2（A2・B2病棟）

### 3 組織・機構 (H21. 4. 1 現在)



※院内組織



#### 4 職員配置状況 (H21. 4. 1現在)

所属	職	事務吏員	技術吏員	技能吏員	計	非常勤職員	再任用職員	臨時的任用職員
所 長			1		1			
総務局								
総務局長		1			1			
副総務局長		1			1			
総務課		8	1		9	12		6
医事経営課		11			11	2		
栄養管理科			3	20	23	27		3
小 計		21	4	20	45	41		9
芹香病院								
院 長			1		1			
副 院 長			1		1			
診 療 科		6	20		26	14		
作業療法科			5		5			
デイ・ケア科		2	4		6			
検 査 科		1			1	2		1
薬 剤 科			5		5	3		
看 護 局 長			1		1			
副 看 護 局 長			2		2			
看 護 局			157	13	170	10		4
小 計		9	196	13	218	29		5
せりがや病院								
院 長			1		1			
診 療 科			7		7	6		
心理・相談科		3			3	2		
看 護 局 長			1		1			
看 護 局			34	2	36	3	1	2
小 計		3	43	2	48	11	1	2
計		33	244	35	312	81	1	16

職種別内訳（H21. 4. 1現在）

職 種 \ 所 属	所 長	総 務 局	芹 香 病 院	せりがや病院	計
一 般 事 務 職		17			17
保 育 士		4			4
電 話 交 換 職					
栄 養 士		3			3
調 理 職		20			20
医 師	1		18	5	24
福 祉 職			8	2	10
心 理 判 定 員			1	1	2
診 療 X 線 職					
作 業 療 法 士			6	2	8
薬 剤 師			5	1	6
看 護 職		1	167	35	203
病 棟 技 能 職			13	2	15
総 数	1	45	218	48	312

## 5 施 設

### 【芹香病院】

土 地		111,978.980㎡	
建 物			
管 理 診 療 棟		鉄筋コンクリート造地下1階・地上4階建	3,529.963㎡
サ ー ビ ス 棟		鉄筋コンクリート造地下1階・地上1階建	1,733.030㎡
病 棟		鉄筋コンクリート造地下1階・地上3階建	
		1 F      2 F      3 F	
	A 棟	” (A1病棟、A2病棟、A3病棟)	4,225.214㎡
	B 棟	” (B1病棟、B2病棟、B3病棟)	4,219.314㎡
	C 棟	” (C1病棟、C2病棟、C3病棟)	4,225.214㎡
社 会 療 法 棟		鉄骨造平屋建	1,055.990㎡
作 業 療 法 棟		鉄筋コンクリート造地下1階・地上2階建	2,207.056㎡
温 室		鉄骨造平屋建(2棟)	81.000㎡
倉 庫		軽量鉄骨造平屋建	41.400㎡
ポ ン プ 室		鉄筋コンクリート造平屋建	64.200㎡
営 繕 作 業 棟		鉄骨プレハブ造平屋建	79.570㎡
保 育 施 設		鉄筋コンクリート造平屋建	321.041㎡
喫 茶 棟		”	91.718㎡
車 庫 棟		”	109.395㎡
そ の 他		渡り廊下他	954.825㎡
計		15棟	22,938.930㎡

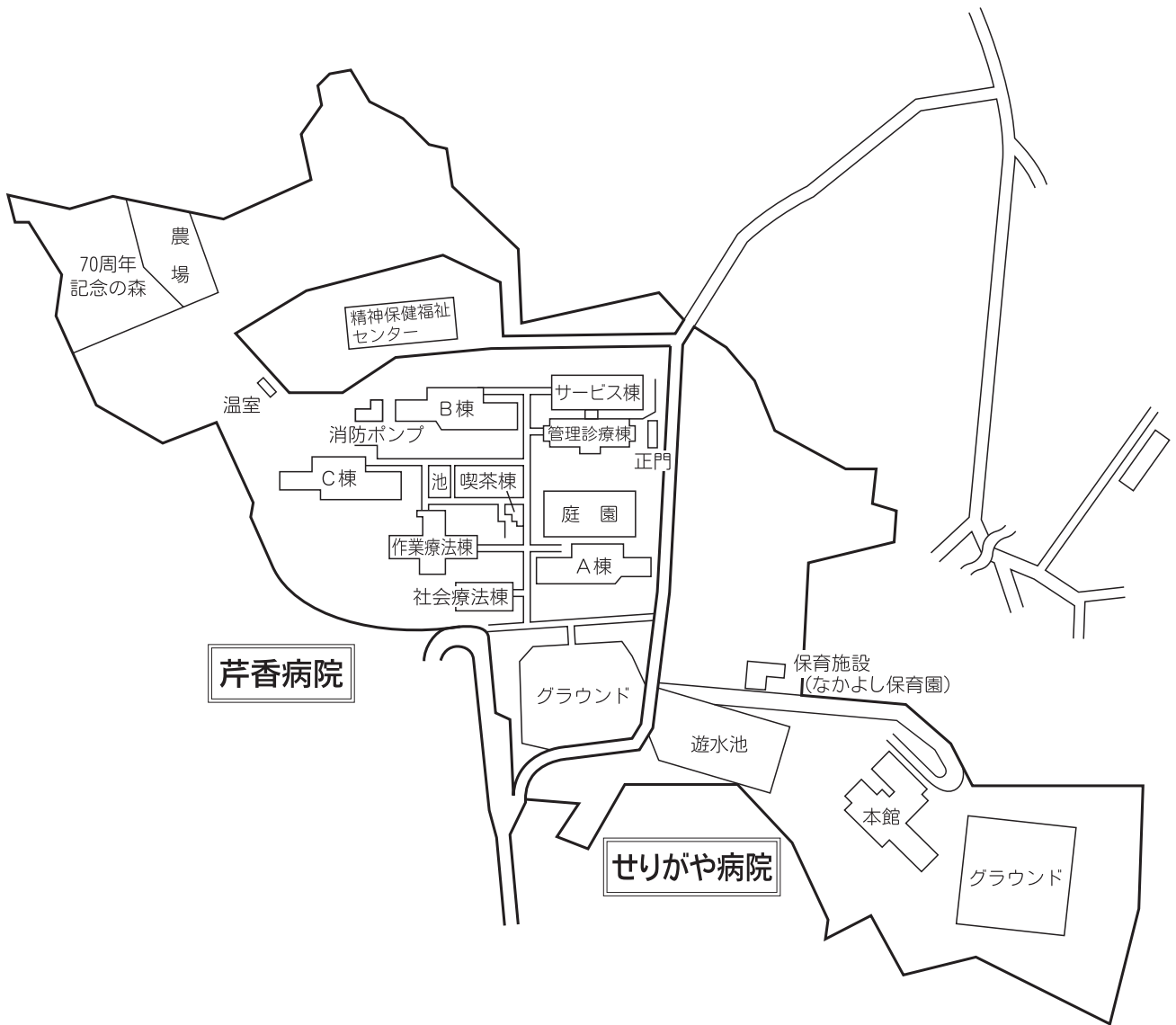
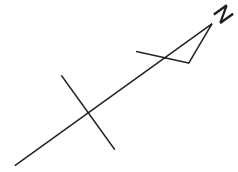
### 【せりがや病院】

土 地		5,196.030㎡	
建 物			
本 館		鉄筋コンクリート造地上2階建	4,426.550㎡
車 庫		鉄骨造平屋建	21.490㎡
倉 庫		”	14.330㎡
計		3棟	4,462.370㎡

### 【精神医療センター計】

土 地		117,175.010㎡
建 物	18棟	27,401.130㎡ (延面積)

# 施設配置図



## 6 主な委員会・会議一覧 (H21. 4. 1 現在)

委員会・会議	目的	所管課(科)	構成員数	開催日
管理者会議	所の運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総務課	9人	月2回(第1・第3月)
経営企画会議	両病院の経営改善の推進に必要な事項の検討	医事経営課	10人	月1回(第3月)
情報管理会議	両病院のカルテ、看護記録等の診療情報の管理に関する事項の検討	医事経営課	11人	随時
運営協議会	所の人権に配慮した医療と効率的な運営に向けた必要事項の検討	総務課	13人	年1回
倫理審査委員会	所で行う医療等に関し、倫理上の配慮が求められる事項についての検討	総務課	10人	随時
機種等選定会議	備品購入又は賃貸に係わる機種選定及び入札参加者等の適正な指名選定	医事経営課	11人	随時
教育研修会議	医療人材の教育・研修及び評価並びに、成果発表会の企画・運営	看護局	15人	隔月
運営調整会議	各病院の運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総務課	芹香 16人 せりがや 18人	芹香 月2回(第1・第3火) せりがや 月1回(第4水)
感染防止対策会議	各病院の院内感染防止及び衛生管理対策等の検討	総務課	芹香 17人 せりがや 16人	芹香 月1回(第3火) せりがや 月1回(第2火)
医療事故防止対策会議	各病院の医療事故の防止体制の整備・確立及び防止対策の企画・立案等	総務課	芹香 17人 せりがや 16人	芹香 月1回(第1火) せりがや 月1回(第2火)
栄養・給食会議	各病院の栄養管理・食事サービス業務の効率的な運営と向上	栄養管理科	芹香 17人 せりがや 15人	芹香 年4回 せりがや 月1回(第2火)
薬事会議	各病院の医薬品の適正な管理及び効率的な運用	薬剤科	芹香 8人 せりがや 8人	芹香 年4回 せりがや 年2回
衛生委員会	各病院の職員の安全と健康の確保及び快適な作業環境の形成	総務課	芹香 10人 せりがや 9人	芹香 月1回 せりがや 月1回
看護科長会議	各病院の看護管理に関する連絡調整及び看護組織の運営改善等の協議、看護職員の資質向上の検討	看護局	芹香 12人 せりがや 4人	芹香 月2回(第1・第3水) せりがや 月2回(第1・第3水)

## Ⅱ 芹香病院事務事業の状況

# 1 芹香病院基本方針

## 1 県民に信頼され親しまれる病院にいたします。

常に県民のニーズを考え、その期待に応えられるようにするとともに、心あたたかい医療を実践することで親しみのある病院づくりを行います。

## 2 神奈川県精神科中核病院として高度で専門的な医療を提供します。

進歩発展を続ける最新の医療水準を取り入れながら、精神科救急などの専門的医療を推し進めていきます。

## 3 適切で円滑な入院受入れと早期退院に努力し社会復帰を支援します。

入院の必要な患者様をスムーズに受け入れるとともに、当初より早期退院を目指して計画的な援助を行い、社会復帰や地域生活を支援します。

## 4 患者様の権利に配慮し納得してもらえる医療を心がけます。

患者様の権利について十分配慮するとともに、インフォームド・コンセントを重視し患者様とともに治療に取り組んでいきます。

## 5 医療の安全管理を徹底し安心して療養できるよう努めます。

職員の安全教育を繰り返し行うとともに、安心して療養できる環境づくりにも日頃から配慮していきます。

## 6 県立病院として健全な経営を目指します。

公共性と医療水準を維持しながら、合理的で効果的な経営のあり方を通して、健全で自立した病院経営に努力します。

## 2 経理の状況

### (1) 病院事業会計決算状況

#### ア 収益的収入及び支出

平成20年度の収益的収入及び支出は、前年度に比較し、収益で0.5%の減少、費用で1.3%の減少となっている。

科 目	平成20年度		平成19年度		対前年度比 (%)	備 考
	金 額(千円)	収益比(%)	金 額(千円)	収益比(%)		
病院事業収益	3,818,695	100.0	3,839,691	100.0	99.5	
医業収益	1,967,616	51.5	2,062,360	53.7	95.4	
入院収益	1,413,073	37.0	1,507,336	39.3	93.7	
外来収益	540,377	14.1	536,200	14.0	100.8	
その他	14,166	0.4	18,824	0.5	75.3	
医業外収益	1,851,079	48.5	1,777,331	46.3	104.1	
受取り利息及び配当	2,893	0.1	2,615	0.1	110.6	
補助金	35,542	0.9	35,102	0.9	101.3	
他会計負担金	1,798,555	47.1	1,721,034	44.8	104.5	
患者外給食収益	8,793	0.2	9,161	0.2	96.0	
その他医業外収益	5,296	0.2	9,419	0.2	56.2	
特別収益	0	—	0	—	—	
その他特別収益	0	—	0	—	—	
病院事業費用	3,962,613	100.0	4,016,238	100.0	98.7	
医業費用	3,901,430	98.5	3,960,765	98.6	98.5	
給与費	2,913,780	73.5	2,929,976	73.0	99.4	
材料費	464,054	11.7	470,760	11.7	98.6	
経費	442,459	11.2	488,373	12.2	90.6	
統括管理費	2,936	0.1	3,053	0.1	96.2	
減価償却費	63,540	1.6	58,908	1.5	107.9	
資産減耗費	7,969	0.2	112	0.0	7,115.2	
研究研修費	6,692	0.2	9,583	0.2	69.8	
医業外費用	60,907	1.5	44,284	1.1	137.5	
支払利息及び病院債取扱諸費	480	0.0	356	0.0	134.8	
繰延勘定償却費	2,293	0.1	2,024	0.1	113.3	
患者外給食材料費	9,045	0.2	9,108	0.2	99.3	
雑損失	49,089	1.2	32,796	0.8	149.7	
特別損失	276	0.0	11,189	0.3	2.5	
損益	▲ 143,908	—	▲ 176,547	—	—	

#### イ 資本的支出

平成19年度の資本的支出は、79.5%の増加となっている。このうち、病院建築費については、工事請負費としてA2外壁工事はじめ、80,463千円の工事を行っている。そして、資産購入費については、備品購入費として37,943千円となっている。

科 目	平成20年度(千円)	平成19年度(千円)	対前年度比(%)	備 考
建設改良費	74,117	164,553	45.0	
病院建築費	13,111	80,463	16.3	
工事委託費	12,156	4,935	246.3	
工事請負費	955	75,528	1.3	
資産購入費	14,877	37,943	39.2	
備品購入費	14,877	37,943	39.2	
その他資産購入費	0	0	—	
総 係 費	11,866	12,347	96.1	
病院債償還金	34,263	33,800	101.4	



### 3 業務実績

#### (1) 各種指標

項目	計算方式	単位	平成20年度	平成19年度	対前年度比(%)	備考
病床数		床	445 (308)	445 (381)	100.0 (80.8)	
取扱患者数		人	134,292	143,183	93.8	
入院患者		人	91,495	99,197	92.2	
外来患者		人	42,797	43,986	97.3	
1日平均取扱患者数		人	397.3	420.6	94.2	
入院患者	取扱入院患者数/年間日数 365日	人	250.7	271.0	92.5	19年度 366日 20年度 365日
外来患者	取扱外来患者数/年間外来診療日数	人	146.6	149.6	97.3	19年度 294日 20年度 292日
病床利用率	取扱入院患者数/延病床数×100	%	56.3 (80.1)	60.9 (71.1)	92.1	
平均在院日数	入院延患者数/(入院患者数+退院患者数)×0.5	日	143.0	156.6	91.3	
入院外来患者比率	取扱患者数/取扱入院患者数×100-100	%	46.8	44.3	105.6	
医師・看護師1人当たりの取扱患者数						
医師	取扱患者数/医師延人数	人	23.0	23.0	100.0	
看護師	取扱患者数/看護師延人数	人	2.2	2.1	104.8	
職員数		人	256	272	94.1	期末人数
医師		人	16	17	94.1	期末人数
看護師		人	170	184	92.4	期末人数
その他職員		人	70	71	98.6	期末人数
病床100床当たりの職員数	全職員数/病床数×100	人	57.5	61.1	94.1	
医師	職員数/病床数×100	人	3.6	3.8	94.7	
看護師	職員数/病床数×100	人	37.4	41.3	90.6	
その他職員	職員数/病床数×100	人	15.4	16.0	96.3	
患者1人当たりの収益	医業収益/取扱患者数	円	14,652	14,404	101.7	
入院患者	入院収益/取扱患者数	円	15,445	15,195	101.6	
外来患者	外来収益/取扱患者数	円	12,626	12,190	103.6	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医師	医業収益/医師延人数	円	336,921	332,371	101.4	
看護師	医業収益/看護師延人数	円	31,710	30,708	103.3	
患者1人1日当たりの費用	医業費用/取扱患者数	円	29,052	27,662	105.0	
患者1人当たりの薬品費	薬品費/取扱患者数	円	2,700	2,551	105.8	
患者1人当たりの給食材料費	給食材料費/取扱入院患者数	円	912	903	101.0	
医業収益に対する費用比率	医業費用/医業収益×100	%	198.2	192.1	103.2	
給与費	給与費/医業収益×100	%	148.1	142.1	104.2	
材料費	材料費/医業収益×100	%	23.6	22.8	103.5	
経費	経費/医業収益×100	%	22.5	23.7	94.9	

(注) 医師、看護師の延人数は、期末の在籍人数に366日(平成19年度)、365日(平成20年度)を乗じ算出した  
(注) 「病床数」欄の( )内は稼働病床数を示す

(注) 「病床利用率」欄の( )内は稼働病床数の病床利用率を示す

## 4 患者の状況

### (1) 外来患者の状況

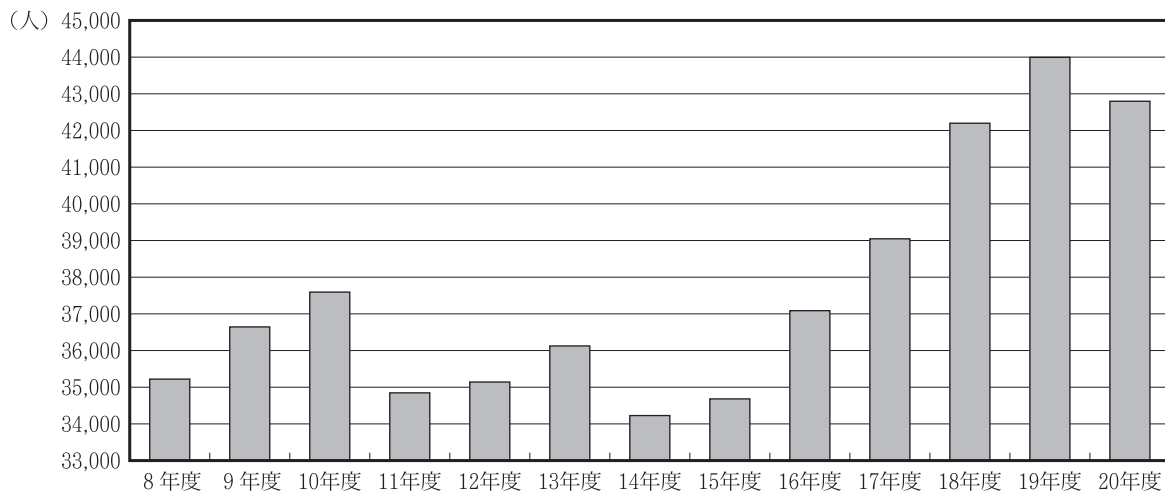
延患者数では1,189人減で対前年度比2.7%減となっている。また、新患については2人増の対前年度比0.2%増となっている。新外来患者数の病類別は、気分障害が全体の45.8%で前年度に比べ21.3ポイント増え、統合失調症を抜いて最も多くなった。これは平成20年4月からうつ病対策としてストレスケア外来を開始したためである。

#### ア 月別外来患者数

年度	区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
20	新患	110	71	62	82	61	79	80	78	67	82	72	69	913
	再来	3,761	3,592	3,408	3,824	3,305	3,464	3,759	3,226	3,439	3,318	3,238	3,550	41,884
	延患者数	3,871	3,663	3,470	3,906	3,366	3,543	3,839	3,304	3,506	3,400	3,310	3,619	42,797
	一日平均	154.8	152.6	138.8	150.2	129.5	147.6	147.7	143.7	159.4	147.8	143.9	144.8	146.6
19	新患	73	70	72	89	74	67	82	83	73	65	73	90	911
	再来	3,429	3,777	3,444	3,709	3,908	3,241	3,860	3,663	3,345	3,501	3,576	3,622	43,075
	延患者数	3,502	3,847	3,516	3,798	3,982	3,308	3,942	3,746	3,418	3,566	3,649	3,712	43,986
	一日平均	145.9	160.3	135.2	151.9	147.5	143.8	151.6	156.1	148.6	155.0	152.0	148.5	149.6

(注) 精神科のほか、内科・歯科受診者を含む

#### イ 外来患者数の年次推移状況



#### ウ 病類別新外来患者数

年度	区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害						
20	男	8	8	7	4	12	139	185		23	1	2	1		6	396
	女	11	8	4	1	3	134	166		35		6	1		2	371
	計	19	16	11	5	15	273	351		58	1	8	2		8	767
	構成比	2.5	2.1	1.4	0.6	2.0	35.6	45.8		7.6	0.1	1.0	0.3		1.0	100.0
19	男	27	7	4	5	10	196	87		26		7	5	2	5	381
	女	39	6	1			152	98		52	1	14		4	5	372
	計	66	13	5	5	10	348	185		78	1	21	5	6	10	753
	構成比	8.8	1.7	0.7	0.7	1.3	46.2	24.5		10.4	0.1	2.8	0.7	0.8	1.3	100.0

(注) 新外来患者とは、精神科初診患者と6ヵ月以上通院していない再初診患者のこと

エ 年齢別新外来患者数

年度	年齢		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
	区分									
20	男		11	64	107	98	45	32	39	396
	女		17	57	96	62	51	33	55	371
	計		28	121	203	160	96	65	94	767
	構成比		3.6	15.8	26.5	20.9	12.5	8.5	12.2	100.0
19	男		23	61	96	74	45	34	48	381
	女		13	56	85	48	49	38	83	372
	計		36	117	181	122	94	72	131	753
	構成比		4.8	15.5	24.0	16.2	12.5	9.6	17.4	100.0

オ 地域別実外来患者数

居住地域	年度		20	19	居住地域	年度		20	19	居住地域	年度		20	19	
	20	19				20	19				20	19			
横 浜 市	鶴見区		44	52	横 須 賀 市			72	66	足 柄 上 郡			4	3	
	神奈川区		67	71	平 塚 市			15	13	中 井 町			0	0	
	西 区		76	79	鎌 倉 市			47	40	大 井 町			2	1	
	中 区		91	89	藤 沢 市			62	49	松 田 町			2	2	
	南 区		431	435	小 田 原 市			9	8	山 北 町			0	0	
	港南区		505	513	茅ヶ崎市			17	19	開成町			0	0	
	保土ヶ谷区		178	183	逗子市			20	14	足 柄 下 郡			2	0	
	旭 区		82	85	相模原市			24	31	箱根町			1	0	
	磯子区		179	188	三 浦 市			13	10	真 鶴 町			0	0	
	金 沢 区		129	134	秦 野 市			8	3	湯河原町			1	0	
	港北区		44	47	厚 木 市			15	6	県 内 計			2,896	2,884	
	緑 区		37	31	大 和 市			23	16	東 京 都			33	26	
	戸塚区		324	331	伊 勢 原 市			1	3	埼 玉 県			9	3	
	瀬谷区		32	42	海老名市			11	6	千 葉 県			5	3	
	栄 区		104	101	座 間 市			6	10	群 馬 県			0	0	
	泉 区		85	93	南 足 柄 市			5	2	栃 木 県			2	1	
	青葉区		17	17	綾 瀬 市			9	6	山 梨 県			1	0	
	都筑区		17	18	三浦郡葉山町			6	1	静 岡 県			5	7	
	川 崎 市	川崎区		16	19	高座郡寒川町			1	0	茨 城 県			2	2
		幸 区		10	6	愛 甲 郡			2	0	そ の 他 の 県			16	15
中原区			16	13	愛 川 町			2	0	県 外 計			73	57	
高津区			11	9	清 川 村			0	0	住 所 不 明			0	0	
宮前区			3	5	中 郡			10	4	計			2,969	2,941	
多摩区			12	6	大 磯 町			6	2						
麻生区			4	7	二 宮 町			4	2						

(注) 新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

## (2) 入退院患者の状況

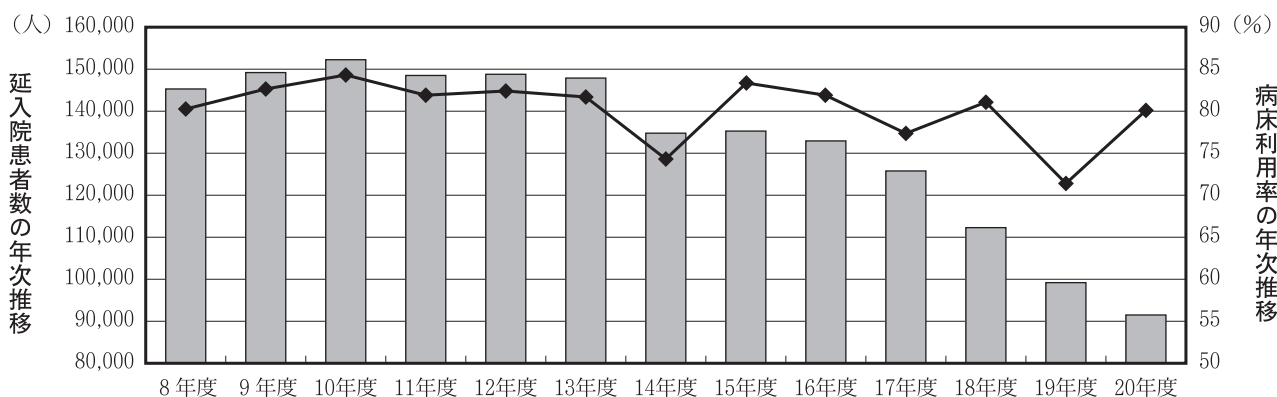
平成20年度は、延患者数91,495人で前年度と比べ7,702人減で対前年度比7.8%減となっている。病床利用率は80.1%で対前年度比9.0ポイントの増となっている。新入院患者は前年度に比べ8.5%増となっている。病類別は統合失調症が最も多く58.9%を占めているが、新入院患者では気分障害が全体の40.3%で前年度に比べ25.4ポイント増え、統合失調症を抜いて最も多くなった。これは平成20年4月からうつ病対策としてストレスケア病棟を開棟したことによるものである。入院形態は任意入院の構成比が対前年度比19.4ポイント増、医療保護入院が14.5ポイント減、措置入院が5.6ポイント減、鑑定入院は0.4ポイント減となっている。また平成20年度は医観法特例措置入院、臨床研究入院があり、構成比はそれぞれ0.5%、0.6%となっている。

### ア 月別入退院患者数

年度	月 区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
20	入院	62	61	39	53	48	54	54	48	62	59	51	60	651
	退院	41	33	49	56	44	67	59	47	61	48	57	67	629
	延患者数	6,904	7,875	7,864	7,960	7,981	7,673	7,609	7,203	7,615	7,900	7,231	7,680	91,495
	病床利用率	72.4	79.9	82.4	80.7	81.0	80.4	79.7	78.0	79.8	82.7	83.8	80.4	80.1
19	入院	46	50	62	58	59	48	56	47	46	42	35	49	598
	退院	46	52	69	65	60	46	51	47	63	53	61	56	669
	延患者数	8,750	8,983	8,685	8,624	8,519	8,322	8,545	8,525	8,361	7,983	6,940	6,960	99,197
	病床利用率	76.6	76.1	76.0	73.0	72.1	72.8	72.3	74.6	70.8	67.6	62.8	58.9	71.1

(注) 月別に新たに入院した数

### イ 延入院患者数及び病床利用率の年次推移状況



### ウ 病類別新入院患者数

年度	病類(ICD) 区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害						
20	男	8	5	4	2	11	86	82		12			4		3	217
	女	8	1	1	1	3	62	73		12	2	3	1		1	168
	計	16	6	5	3	14	148	155		24	2	3	5		4	385
	構成比	4.2	1.6	1.3	0.8	3.6	38.4	40.3		6.2	0.5	0.8	1.3		1.0	100.0
19	男	17	12	1	4	10	106	21		12		2	2	1	2	190
	女	16	7	1			87	32		7	1	11	1	1	1	165
	計	33	19	2	4	10	193	53		19	1	13	3	2	3	355
	構成比	9.3	5.3	0.6	1.1	2.8	54.4	14.9		5.4	0.3	3.7	0.8	0.6	0.8	100.0

(注) 新入院患者とは、当病院に初めて入院した患者のこと

エ 病類別・年齢別実入院患者数

年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	年齢構成比	
	年齢	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害								
																			男
20	19歳以下	男					4	1		2				1		5	13	2.4	
		女						3	1		2			1		1	8		
		小計						7	2		4			2		6	21		
	20～29歳	男		2		1	2	45	5		3			1	4	1		64	12.4
		女		1		1	4	20	7		5	1		3		1	1	44	
		小計		3		2	6	65	12		8	1		4	4	2	1	108	
	30～39歳	男			1	1	5	72	26		6				1			112	23.4
		女		4	1	2		50	23		7	1		1	2			91	
		小計		4	2	3	5	122	49		13	1		1	3			203	
	40～49歳	男		3	1	1	5	64	32		2							108	20.7
		女					1	46	22		3							72	
		小計		3	1	1	6	110	54		5							180	
	50～59歳	男		3			2	54	22		2				1			84	17.4
		女		2				51	14									67	
小計			5			2	105	36		2				1			151		
60～69歳	男		7	3		2	46	18						1	1		78	15.0	
	女	2	1				29	19		1							52		
	小計	2	8	3		2	75	37		1				1	1		130		
70歳以上	男	10	1				14	7		1				1			34	8.7	
	女	9					14	18		1							42		
	小計	19	1				28	25		2				1			76		
計	男	10	16	5	3	16	299	111		16			1	9	2	5	493	100.0	
	女	11	8	1	3	5	213	104		19	2		4	3	1	2	376		
	計	21	24	6	6	21	512	215		35	2		5	12	3	7	869		
	構成比	2.4	2.8	0.7	0.7	2.4	58.9	24.7		4.0	0.2		0.6	1.4	0.4	0.8	100.0		
19	19歳以下	男		3				6		5						3	17	3.3	
		女						5	2		1			2		2	12		
		小計		3				11	2		6			2		5	29		
	20～29歳	男		1		1	3	44	2		2			3		1	1	58	12.0
		女		2				26	5		6			7	2			48	
		小計		3		1	3	70	7		8			10	2	1	1	106	
	30～39歳	男		1		2	2	70	5		5			1	2		1	89	19.7
		女		3	1	1		64	6		2			7	2			86	
		小計		4	1	3	2	134	11		7			8	4		1	175	
	40～49歳	男		4		3	3	73	8									91	18.8
		女					1	57	10		3	1		2	2			76	
		小計		4		3	4	130	18		3	1		2	2			167	
	50～59歳	男		10	1		3	58	13		1				2	1		89	19.3
		女		3	1			54	19		1			1	2	1		82	
小計			13	2		3	112	32		2			1	4	2		171		
60～69歳	男	3	9			2	41	5		1							61	14.4	
	女	5	2				50	9		1							67		
	小計	8	11			2	91	14		2							128		
70歳以上	男	29	2				12	3									46	12.5	
	女	25	1				25	14									65		
	小計	54	3				37	17									111		
計	男	32	30	1	6	13	304	36		14			4	4	2	5	451	100.0	
	女	30	11	2	1	1	281	65		14	1		17	10	1	2	436		
	計	62	41	3	7	14	585	101		28	1		21	14	3	7	887		
	構成比	7.0	4.6	0.3	0.8	1.6	65.9	11.4		3.2	0.1		2.4	1.6	0.3	0.8	100.0		

(注) 実入院患者数とは、前年度末に在院していた患者数に、当年度に新たに入院した患者数を足した数

才 地域別実入院患者数

居住地域	年度		居住地域	年度		居住地域	年度			
	20	19		20	19		20	19		
横 浜 市	608	682	横 須 賀 市	21	22	足 柄 上 郡	2	0		
	鶴 見 区	14	23	平 塚 市	14		10	中 井 町	0	0
	神 奈 川 区	13	19	鎌 倉 市	15		13	大 井 町	2	0
	西 区	23	21	藤 沢 市	27		23	松 田 町	0	0
	中 区	26	26	小 田 原 市	6		5	山 北 町	0	0
	南 区	98	109	茅 ヶ 崎 市	14		15	開 成 町	0	0
	港 南 区	119	138	逗 子 市	5		3	足 柄 下 郡	1	0
	保 土 ヶ 谷 区	36	47	相 模 原 市	15		17	箱 根 町	0	0
	旭 区	24	35	三 浦 市	8		3	真 鶴 町	0	0
	磯 子 区	50	45	秦 野 市	6		2	湯 河 原 町	1	0
	金 沢 区	36	33	厚 木 市	9	7	県 内 計	834	864	
	港 北 区	23	20	大 和 市	15	10	東 京 都	11	9	
	緑 区	12	14	伊 勢 原 市	0	2	埼 玉 県	2	0	
	戸 塚 区	62	74	海 老 名 市	5	3	千 葉 県	3	1	
	瀬 谷 区	6	12	座 間 市	5	5	茨 城 県	0	0	
	栄 区	30	24	南 足 柄 市	2	2	群 馬 県	0	0	
	泉 区	23	26	綾 瀬 市	6	2	栃 木 県	2	3	
	青 葉 区	8	6	三 浦 郡 葉 山 町	3	0	静 岡 県	1	2	
	都 筑 区	5	10	高 座 郡 寒 川 町	0	0	そ の 他 の 県	16	8	
	川 崎 市	42	36	愛 甲 郡	1	0	県 外 計	35	23	
川 崎 区		11	8	愛 川 町	1	0	住 所 不 明	0	0	
幸 区		7	4	清 川 村	0	0	計	869	887	
中 原 区		7	11	中 郡	4	2				
高 津 区		6	3	大 磯 町	1	0				
宮 前 区		2	3	二 宮 町	3	2				
多 摩 区		7	2							
麻 生 区		2	5							

カ 入院費負担区分別患者数（平成21年3月現在在院患者一覽表）

年度	負担区分	健康保険法		国民健康 保険法	生活保護法	精神保健 福祉法	感染症法 (第37条)	自 費	計
		本 人	家 族						
20	男	6	11	98	24	5		3	147
	女	4	10	59	20				93
	計	10	21	157	44	5		3	240
	構 成 比	4.2	8.7	65.4	18.3	2.1		1.3	100.0
19	男	8	13	88	24	2			135
	女	2	14	50	15	2			83
	計	10	27	138	39	4			218
	構 成 比	4.6	12.4	63.3	17.9	1.8			100.0

キ 入院形態別患者数

年度	形態	月 区分													計
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
20	任意	男	9	16	6	14	5	12	9	5	12	16	8	12	124
		女	15	10	5	8	12	9	13	4	11	8	13	8	116
		小計	24	26	11	22	17	21	22	9	23	24	21	20	240
		構成比	38.7	42.6	28.2	41.5	35.4	38.9	40.7	18.8	37.1	40.7	41.2	33.4	36.8
	医療保護	男	17	12	14	8	14	8	11	18	15	21	8	12	158
		女	12	14	9	12	10	19	10	11	12	11	9	17	146
		小計	29	26	23	20	24	27	21	29	27	32	17	29	304
		構成比	46.8	42.6	59.0	37.7	50.0	50.0	38.9	60.4	43.6	54.2	33.3	48.3	46.7
	措置	男	7	6	4	10	4	4	5	7	7		7	6	67
		女	2	2	1	1	2	1	5	3	4	2	5		28
		小計	9	8	5	11	6	5	10	10	11	2	12	6	95
		構成比	14.5	13.1	12.8	20.8	12.5	9.2	18.5	20.8	17.7	3.4	23.5	10.0	14.6
	鑑定	男		1			1		1					1	4
		女									1				1
		小計		1			1		1		1			1	5
		構成比		1.7			2.1		1.9		1.6			1.7	0.8
	医観法特例措置	男												1	1
		女							1					1	2
		小計							1					2	3
		構成比							1.9					3.3	0.5
臨床研究	男										1	1	2	4	
	女														
	小計										1	1	2	4	
	構成比										1.7	2.0	3.3	0.6	
計	男	33	35	24	32	24	24	26	30	34	38	24	34	358	
	女	29	26	15	21	24	30	28	18	28	21	27	26	293	
	計	62	61	39	53	48	54	54	48	62	59	51	60	651	
19	任意	男	1	4	5	4	2	4	7	2	3	1	4	5	42
		女	3	6	8	4	8	6	8	6	4	2	1	6	62
		小計	4	10	13	8	10	10	15	8	7	3	5	11	104
		構成比	8.7	20.0	21.0	13.8	17.0	20.8	26.8	17.0	15.2	7.1	14.3	22.4	17.4
	医療保護	男	16	14	14	17	22	12	16	11	11	18	8	13	172
		女	14	14	24	20	16	19	19	16	18	11	12	11	194
		小計	30	28	38	37	38	31	35	27	29	29	20	24	366
		構成比	65.2	56.0	61.3	63.8	64.4	64.6	62.5	57.5	63.1	69.1	57.1	49.0	61.2
	措置	男	7	8	7	8	9	2	3	9	6	8	2	9	78
		女	4	4	3	4	2	4	2	2	4	2	7	5	43
		小計	11	12	10	12	11	6	5	11	10	10	9	14	121
		構成比	23.9	24.0	16.1	20.7	18.6	12.5	8.9	23.4	21.7	23.8	25.7	28.6	20.2
	鑑定	男	1		1	1					1			1	5
		女							1	1					2
		小計	1		1	1			1	1	1			1	7
		構成比	2.2		1.6	1.7			2.1	1.8	2.1			2.9	1.2
	計	男	25	26	27	30	33	18	26	23	20	27	15	27	297
		女	21	24	35	28	26	30	30	24	26	15	20	22	301
		計	46	50	62	58	59	48	56	47	46	42	35	49	598

(注) 本表の患者とは、当年度に新たに入院した数

(注) 「措置」には緊急措置入院・応急入院もふくまれる

(注) 平成20年度より新たに「医観法特例措置」「臨床研究」が加わる

ク 病類別・在院期間別在院患者数

年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比	
	期間	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害								
																			男
20	1年未満	男	3	1			1	39	16		1			4	2	1	68	51.3	
		女	1	2		1		32	14		4		1				55		
		小計	4	3		1	1	71	30		5		1	4	2	1	123		
	1～2年	男						20	1									21	16.7
		女	2					16							1			19	
		小計	2					36	1					1			40		
	3～4年	男						12										12	7.9
		女						7										7	
		小計						19										19	
	5～9年	男						17	1									18	10.4
		女						7										7	
		小計						24	1									25	
	10～19年	男						17										17	8.8
		女						4										4	
小計							21										21		
20～29年	男			1			8										9	3.7	
	女																0		
	小計			1			8										9		
30年以上	男						2										2	1.2	
	女						1										1		
	小計						3										3		
計	男	3	2			1	115	18		1				4	2	1	147	100.0	
	女	3	2		1		67	14		4			1	1			93		
	計	6	4		1	1	182	32		5			1	5	2	1	240		
	構成比	2.5	1.7		0.4	0.4	75.9	13.3		2.1			0.4	2.1	0.8	0.4	100.0		
19	1年未満	男		1			2	43	7		2				1		56	46.3	
		女	2	3				30	7		1			2			45		
		小計	2	4			2	73	14		3			2	1		101		
	1～2年	男		1				16	1									18	15.6
		女				1		15										16	
		小計		1		1		31	1									34	
	3～4年	男						11										11	8.7
		女						8										8	
		小計						19										19	
	5～9年	男						21	1									22	13.8
		女						8										8	
		小計						29	1									30	
	10～19年	男						17										17	10.1
		女						4	1									5	
小計							21	1									22		
20～29年	男			2			7										9	4.1	
	女																0		
	小計			2			7										9		
30年以上	男						2										2	1.4	
	女						1										1		
	小計						3										3		
計	男		4			2	117	9		2					1		135	100.0	
	女	2	3		1		66	8		1				2			83		
	計	2	7		1	2	183	17		3				2	1		218		
	構成比	0.9	3.2		0.5	0.9	83.9	7.8		1.4				0.9	0.5		100.0		



ケ 病類別・転帰別退院患者数

年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比	
	転帰	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害								
																			男
20	全快	男																0.0	
		女																	
		小計																	
	軽快	男	7	2		2	4	105	74		8		1	1	2	2	208	65.3	
		女	6	2	1	1	2	103	69		15	1	2			1	203		
		小計	13	4	1	3	6	208	143		23	1	3	1	2	3	411		
	未治	男								1	5				2			12	2.1
		女																1	
		小計								1	5							13	
	転医	男	2	7	4	2	5	75	14		5				3	1	2	120	31.0
		女	2	5	1		2	42	13		4			4	1		1	75	
		小計	4	12	5	2	7	117	27		9			4	4	1	3	195	
	死亡	男								1								1	0.3
		女								1								1	
		小計								2								2	
鑑定了	男					2	2										4	0.8	
	女								1								1		
	小計					2	3										5		
臨了	男									3							3	0.5	
	女																0		
	小計									3							3		
計	男	9	9	4	4	11	184	96		17			1	6	3	4	348	100.0	
	女	8	7	2	1	4	147	82		20	1	6	1			2	281		
	小計	17	16	6	5	15	331	178		37	1	7	7		3	6	629		
	構成比	2.7	2.5	0.9	0.8	2.4	52.6	28.3		5.9	0.2	1.1	1.1		0.5	1.0	100.0		
19	全快	男																0.0	
		女																	
		小計																	
	軽快	男	18	12	1	6	7	108	26		7			3	8		3	199	68.0
		女	23	6	1		2	153	44		13			7	4		3	256	
		小計	41	18	2	6	9	261	70		20			10	12		6	455	
	未治	男				1				3				2				9	4.0
		女	1							7	3			4				18	
		小計	1			1				10	3			6			1	27	
	転医	男	15	11	4	1	1	57	5		3			2	2			101	26.3
		女	5	1	1			49	9		4			5	1			75	
		小計	20	12	5	1	1	106	14		7			7	3			176	
	死亡	男	1							1								2	0.8
		女								3								3	
		小計	1							4								5	
鑑定了	男				1				2	1							4	0.9	
	女								1								2		
	小計				1	1			3	1							6		
計	男	34	23	5	9	8	171	32		12			7	10		4	315	100.0	
	女	29	7	3		2	213	56		20			16	5		3	354		
	小計	63	30	8	9	10	384	88		32			23	15		7	669		
	構成比	9.4	4.5	1.2	1.3	1.5	57.4	13.2		4.8			3.4	2.3		1.0	100.0		

(注) 「臨床」とは臨床研究入院のこと

コ 病類別・在院期間別退院患者数（20年度）

期間	病類(ICD)区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
1年未満	男	9	8	4	4	11	171	96		17		1	5	1	4	331	95.6
	女	8	6	2		4	138	82		20	1	6	1		2	270	
	小計	17	14	6	4	15	309	178		37	1	7	6	1	6	601	
1～2年	男		1				4							1		6	1.7
	女		1		1		3									5	
	小計		2		1		7							1		11	
3～4年	男						4									4	0.8
	女						1									1	
	小計						5									5	
5～9年	男						2						1			3	1.1
	女						4									4	
	小計						6						1			7	
10～19年	男						2									2	0.5
	女						1									1	
	小計						3									3	
20～29年	男						1								1	2	0.3
	女																
	小計						1							1		2	
30年以上	男																0.0
	女																
	小計																
計	男	9	9	4	4	11	184	96		17		1	6	3	4	348	100.0
	女	8	7	2	1	4	147	82		20	1	6	1		2	281	
	計	17	16	6	5	15	331	178		37	1	7	7	3	6	629	
	構成比	2.7	2.5	0.9	0.8	2.4	52.6	28.3		5.9	0.2	1.1	1.1	0.5	1.0	100.0	

(3) 救急医療の状況

年度	月区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		20	取扱件数	(9) 23	(12) 19	(8) 19	(15) 27	(12) 18	(12) 21	(15) 25	(13) 24	(13) 31	(6) 26	(14) 21
20	入院	(9) 16	(10) 11	(6) 15	(12) 17	(9) 12	(8) 13	(12) 18	(11) 17	(10) 19	(5) 17	(11) 14	(10) 18	(113) 187
	外来処置	(0) 7	(2) 8	(2) 4	(3) 10	(3) 6	(4) 8	(3) 7	(2) 7	(3) 12	(1) 9	(3) 7	(1) 7	(27) 92
	19	取扱件数	(17) 30	(15) 25	(17) 36	(19) 34	(13) 32	(7) 31	(10) 29	(10) 28	(14) 36	(12) 34	(9) 22	(16) 28
19	入院	(13) 17	(13) 17	(10) 19	(16) 25	(11) 16	(6) 17	(7) 19	(10) 17	(9) 21	(11) 22	(9) 13	(15) 19	(130) 222
	外来処置	(4) 13	(2) 8	(7) 17	(3) 9	(2) 16	(1) 14	(3) 10	(0) 11	(5) 15	(1) 12	(0) 9	(1) 9	(29) 143

(注) ( ) は、精神保健診察件数で内数

## 5 業務の状況

### (1) 看護

#### ア 看護局の動向

看護局職員数と看護単位の別設置人員は(ア)のとおりである。

平成19年度から平成20年度にかけては、大幅な病棟機能編成が行われA1病棟とC1病棟を休床した。その後各病棟は以下のような機能変更に伴う改修工事が行われた。

A2病棟：改修後ストレスケア病棟として開棟、21年2月に急性期治療病棟承認

B2病棟：精神科救急病棟としての改修と申請 21年4月に承認

B3病棟：医療介護病棟としての改修と運営

20年度の看護局方針・看護目標は以下を掲げ達成に向けて取り組んだ。

#### 〈看護局方針〉

患者様と共に、自立に向けて取り組み、質の高い看護を提供します。

#### 〈看護局目標〉

- 1 患者様の尊厳と人権を尊重した関わりができる。
- 2 安全な環境の提供に配慮し、患者様と共に事故防止に努める。
- 3 患者様の社会復帰と地域での生活を支援する。
- 4 日常の看護実践の意味づけをし、精神科看護師としての能力の向上を図る。
- 5 病床の有効活用を行い、病院運営に寄与する。

#### 〈看護目標の評価〉

- 1 「患者様の尊厳と人権を尊重した関わりができる」について

患者参加型カンファレンスは4病棟で実施している。(A3・B1・B2・C2)

接遇改善への取り組みとして学習会・研修への参加者が増えているが、接遇マナー自己チェックに大きな変化がみられないため、次年度は客観評価を行うことにした。

- 2 「安全な環境の提供に配慮し、患者様と共に事故防止に努める」について

KYT・タッチ&コールは複数のセクションで実施されインシデント件数現象に繋がった。

窒息事故対策としては多職種による摂食・嚥下プロジェクトチームを立ち上げ「入院時誤嚥リスク評価用紙」を作成し重大な窒息事故予防に努めている。

- 3 「患者様の社会復帰と地域での生活を支援する」について

多職種カンファレンスを全セクションで実施しており、退院前訪問も少しずつ増加している。

- 4 「日常の看護実践の意味づけをし、精神科看護師としての能力の向上を図る」について

キャリア形成ステップ認定者が72%になった。

- 5 「病床の有効活用を行い、病院経営に寄与する」について

病院全体病床利用率目標85%に対して80.1%であった。その要因としては、病院機能変更に伴う工事期間に入院受け入れ制限を4病棟(B2・B3・C2・C3)行ったことや、難治治療困難患者の保護室・個室使用が続いていることが考えられる。

平成17年病院機能評価認定病院となり、病院「3C」作戦…清潔(Clean)で、色彩感覚(Colorful)に優れた、

心楽しい（Cheerful）病院に作りかえる…に取組み、現在に至っている。

救急入院体制は、平成8年度から休日救急入院（システム救急）の基幹病院として22時までの精神科救急患者を受入れ、平成14年度からは、精神保健福祉法第24条通報による22時以降の入院受入れを開始した（輪番体制で当院は土・日が受入れ日）。平成15年度からは、輪番体制の当院の日に火・木が追加され、平成15年9月1日に応急指定病院の指定を受け、現在院内救急も含め救急入院を受入れている。平成15年4月B1病棟は救急病棟（26床）として開棟した。また、B2病棟は平成18年8月から急性期治療病棟として整備し、平成19年5月「精神科急性期治療病棟入院料2」21年4月には精神科救急病棟が認可された。当院における救急医療の受入れ状況は、平成19年度365件（その内システム234件）、平成20年度279件（その内システムは189件）であった。

病床数は、平成21年4月から稼働病床数308床。平均在院日数は、平成19年度156.6日、平成20年度120.9日と短縮された。

訪問看護は、平成2年に試行が始まり、平成15年から外来に訪問看護調整者を1名配置し、看護職員・医師・ケースワーカー・デイケアのメンバーが連携し訪問を実施している。平成17年度から地域医療相談室に訪問看護担当者が位置づけられた。訪問件数は、平成19年度は3,050件、平成20年度2,797件行い地域での生活支援につながっている。平成17年7月より医療観察法鑑定入院の受入れと医療観察法通院医療の対象者に多職種チームを編成し訪問看護を実施している。

総合レクリエーションとしての「芹香まつり」は、平成12年度より実行委員会を発足し、平成16年より芹香まつり実施運営会議と名称を変え病院行事として実施している。平成20年度は“ふれあいの心 Let's Enjoy 芹香”をテーマに10月14・15日に行った。催しは、模擬店、ピアノ演奏、魚釣り・輪投げなどゲームで楽しいひとときを過ごすことができた。看護の日・看護週間の行事は、平成15年度より病院行事となり、平成20年度は、5月13・14日の2日間、「優しくふれあい看護の日」というテーマで全職員が協力し企画実施した。内容は、作品展示・マンドリン演奏、大道芸（マジック）を楽しんだ。参加者は、患者・家族・職員で延べ774人であった。

看護局内会議は平成19年度より教育（現任教育会議・臨地実習指導者会議）、看護業務（看護業務会議・看護記録会議・病棟技能員会議）、院内など連携関係（環境感染会議・院外活動支援会議・安全・安楽推進会議）とし、看護管理を推進できるように補佐会議を位置づけた。

医療安全対策として、平成17年度から精神医療センターに医療安全推進室が設置され、担当者として看護職の中から医療安全管理者（専任）、医療事故防止担当（兼任）、感染防止担当（兼任）を配置し、病院全体の医療安全に向けて役割を担っている。

ア) 病棟機能と看護職員配置 (H21. 4. 1 現在)

病 棟	病棟機能	病 床 数	看護職員定数	病棟技能員
看 護 局	看護局長		1	
	副看護局長		2	
看 護 教 育 科			1	
外 来			7	
A 1	老人性認知症専門病棟 閉鎖病棟		休 床	
A 2	ストレスケア病棟 開放病棟	37 保護室 1	17	2
A 3	総合治療病棟 閉鎖病棟 (マーク式)	50 保護室 6 静養室 6	21	2
B 1	救急病棟 閉鎖病棟 (マーク式)	26 保護室 14 静養室 4	30	1
B 2	救急病棟 閉鎖病棟 (マーク式)	34 保護室 6 静養室 5	21	3
B 3	医療介護病棟 (含重症認知症・結核) 閉鎖病棟 (マーク式)	45 医療介護 (結核 2床) 保護室 2 静養室 2	25	2
C 1	生活訓練・短期静養病棟 開放病棟		休 床	
C 2	一般病棟 閉鎖病棟 (マーク式)	60 保護室 3 静養室 2	17	2
C 3	一般病棟 (男子) 閉鎖病棟 (マーク式)	56 保護室 3 静養室 3	17	2
デ イ ・ ケ ア			3	
地域医療相談室			4	
医療安全推進室			1	
合 計		308	167	14

※看護職員・病棟技能職員数は、臨時的任用職員・非常勤職員を含む。

(イ) 看護教育

a 平成20年度院内教育実施状況

	研修名	ね ら い	方 法	対 象	人数	
テ ー リ ン グ	採用時研修 ☆	・ 芹香病院の概要を理解し、組織・環境・業務への適応をはかる。 ・ 職員の一員としての自覚を促す。 ・ 専門職業人としての自覚を持てるようにする。	講義 演習 見学	新採用者・転入者		
役 割 ・ 課 題 研 修	接 遇 研 修 ☆	・ 接遇の実際を通して、専門職業人としての態度を身につける。	演習	新採用者 他全ステップ		
	チ ャ ッ ト メ ン バ ー 研 修	・ 病棟の看護業務を理解し、看護援助のありようが分かる。 ・ 自分の置かれている立場やお互いの問題を共有し、今後の方向性を見出す。		新採用者		
	プ リ セ プ タ ー 研 修 I ☆	・ プリセプターシップについて理解しプリセプターとしての役割行動につなげることができる。	講義	ステップⅢ・Ⅳ 平成21年度 プリセプター担当者	6名	
	プ リ セ プ タ ー 研 修 II ☆	・ 指導の中で生じた疑問や不安を軽減し、プリセプターとしての自己の課題を明確にすることが出来る。	グループワーク	ステップⅢ・Ⅳ プリセプター担当者		
	病 棟 目 標 推 進 研 修	・ 病棟目標を達成する為の、問題解決への取り組みが積極的にできる。	講義 グループワーク	ステップⅣ・Ⅴ	9名	
	課 題 研 修 看 護 科 長 代 行 研 修	・ 看護科長代行者の役割をととして、管理的資質の向上を図る。	講義 グループワーク	ステップⅣ・Ⅴ	8名	
	主 任 研 修 I	・ 主任としての認識を深め、自己の役割について積極的に取り組める。	講義	新主任者	6名	
救 急 対 応	救急蘇生法研修Ⅰ ☆	・ 看護者として必要な救急時の基礎的対応が分かる。	講義・演習 デモンストレーション	新採用者		
	救急蘇生法研修Ⅱ	・ 救急蘇生の実際を分散教育・教育研修会議主催の研修を受けることでさらに知識・技術を向上していくことができる。	講義・演習 デモンストレーション	ステップⅡ以上		
事 例 検 討	看 護 過 程 の 展 開	・ 看護場面を振り返り一連の看護過程を展開することができる。	グループワーク	ステップⅠ		
	看 護 場 面 の 再 構 成 ☆	・ 患者とのコミュニケーション場面を振り返り自分が患者に与える影響について理解し適切なコミュニケーション技術を学ぶ。	講義 グループワーク	ステップⅡ	3名	
	根 拠 に 基 づ いた 看 護 実 践 ( E B N )	・ 事例を通して自己の看護を振り返り、精神科看護のポイントを学ぶ。	ケースカンファレンス 事例検討 ケーススタディ発表会	ステップⅢ・Ⅳ	5名	
	事 例 検 討 Ⅳ チ ャ ッ ト 医 療 お け る 実 践	・ チームに及ぼす影響を認識し、人間関係の調整に努力ができる。	院外講師の講義・演習 グループワーク	ステップⅣ・Ⅴ	8名	
精 神 看 護	精 神 科 看 護 技 術 研 修	・ 精神科における特殊な看護技術の実際を学ぶ。	講義・演習	新採用者・転入者	0名	
	コ ー チ ン グ ☆	・ 患者対応技術を高める。相手の能力や才能を引き出していく力を養う。	院外講師の講義	ステップⅡ以上	19名	
	S S T 研 修 ☆	・ 患者の生活技能を高める為の理論と実際を学ぶ。	院外講師の講義・演習 グループワーク	ステップⅡ以上	12名	
	包 括 的 暴 力 防 止 プ ロ グ ラ ム の 実 践 ( C V P P P )	・ 「包括的暴力防止プログラム」の構成要素を理解し、身体技術介入を身につける。	講義・演習	ステップⅡ以上	21名	
	精 神 看 護 専 門 研 修 ( 自 主 研 修 )	・ 精神看護領域における実践能力を高め質の高い看護を提供する為に必要な能力の向上を図る。	院外講師講義 グループワーク	ステップⅢ以上 精神科経験4年以上	6名	
看 護 師 の た め の 研 修	① 静脈注射のガイドラインと法的根拠 ② 静脈注射に使用する薬剤の基礎知識 ③ 静脈注射の解剖生理・合併症 ④ 安全と事故防止 ⑤ 静脈注射の実際	・ 医師の指示に基づいた静脈注射を安全に実施するために必要な知識・技術を習得する。 (静脈注射が実施できる看護師のために必要な研修)	講義 講義 講義 演習	全職員	14名	
講 演 等	看 護 研 究 計 画 発 表 会	・ 看護活動を通して得た研究成果を発表し相互の学びとする。	院外講師講評	全看護職員	25名	
	看 護 研 究 発 表 会	・ 精神科看護の質の向上につなげることができる。			49名	
	講 演 会 ☆	・ 精神科看護技術を高める。	院外講師の講義	全看護職員	12名	
	講 演 会 ☆	・ 自己研鑽の動機づけとする。 ・ 精神科看護の質の向上につなげることができる。	院外講師の講義	全看護職員	名	
	伝 達 講 習 会	・ 院外研修の報告を受け、自己研鑽の動機づけとする。			全看護職員	名
	社 会 資 源 の 実 際 研 修	・ 患者が社会復帰していくための社会資源の活用知識を学ぶ。	講義	全看護職員	25名	
	病 棟 技 能 員 研 修	・ 患者の入院環境を整えるために、組織の中で効果的に役割を担い、患者サービスの向上を図る。	院内講師 講義・演習 グループワーク	全病棟技能員	14名	

☆ セリがや病院と合同

b 看護職員講師派遣

	学 校 ・ 団 体 名	科 目	時 間
基礎教育	横浜市医師会看護専門学校	精神科看護学 精神障害と看護	10時間
	社会保険横浜看護専門学校	精神科看護方法論Ⅱ	16時間
	神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科	精神科看護方法論Ⅱ	6時間
	神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	精神科看護方法論Ⅱ	12時間
継続教育	保健福祉大学実践教育センター 管理者養成課程Ⅰ	ヒューマンサービス論 グループマネジメント	16時間

c 実習生の受入れ

	学 校 名	人数	実 施 月
実習	横浜市病院協会看護専門学校	50人	平成20年5月～11月
	横浜市医師会看護専門学校	45人	平成20年5月～11月
	社会保険横浜看護専門学校	30人	平成20年5月～9月
	聖母看護学校	18人	平成20年12月
	神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科	42人	平成20年5月～10月
	神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	15人	平成20年5月～10月
	神奈川県立よこはま看護専門学校	80人	平成20年5月～11月
	神奈川県立保健福祉大学	51人	平成20年6月～12月

d 研修・見学実習等受入れ状況

学 校 ・ 団 体 名	対象者	人数	実 施 月
横浜市立芹が谷中学校	2年生	4人	平成21年2月

平成20年度 病棟リハビリテーション実施状況

病棟 月	A3	B3	C2	C3
4月			お花見散歩	
5月		施設見学・食事会 (東戸塚移動ホール)	体力づくり散歩	カラオケ
6月	バスレク (森永製菓工場) 【B3 合同】	市内観光 (森永製菓工場) 【A3 合同】	カラオケ	市内めぐり
7月		七夕	七夕祭り	七夕・カラオケ
8月			盆踊り	盆踊り・すいか割り
9月		バスレク (市内観光) 【C2 合同】	バスレク (市内観光) 【B3 合同】	買物ツアー
10月	食事会		買物	大運動会
11月		紅葉狩り	バスレク (施設見学) (リエゾン笠間訪問の家)	
12月	①食事会 ②クリスマス会	クリスマス会	クリスマス会	クリスマス会
1月		初詣 (寒川神社) 【C2・C3 合同】	初詣 (寒川神社) 【B3・C3 合同】	初詣 (寒川神社) 【B3・C2 合同】
2月	バスレク (市内観光)	節分	節分	
3月		ひな祭り	ひな祭り	



## (2) 作業療法 (OT)

### ア 作業療法

当院作業療法は、主に入院患者を対象としているが、平成17年度より外来患者も受け入れ、日常生活の回復を図り社会適応や自立を促すために様々な活動 (OTプログラム) を実施している。

ここ数年に見る処方患者の状態は、対人関係や作業能力等において療法士とマンツーマンによる密度の高い関わりを必要とする人、集団場面の適応能力が低い人、集中力・持続性に欠ける人、病棟から出てOTに参加することが難しい人などが増加している一方、3～6ヶ月で退院していく人も増えており、多様化してきている。そこでプログラムの改善を色々と試みている。例えば、病棟に作業療法士が赴いて行う病棟OTを平成15年度より順次A3、B3、C2、C3病棟で開始し、加えて今年度11月にはA2病棟でも実施を始めた。

作業療法科では、安心していただける居場所の提供を基本に、患者の状態により参加プログラムや所属するグループを考慮し、長期ゴールを意識して治療に当たっている。

そのプログラム内容は主に、

- ・社会復帰訓練を中心とした活動
- ・コミュニケーション及び自己表現力を高める活動
- ・協同作業を中心とした活動
- ・レクリエーション活動
- ・ADL及びAPDL訓練を中心とした活動
- ・体力の維持・向上を中心とした活動
- ・生産的作業を中心とした活動
- ・面接及び相談

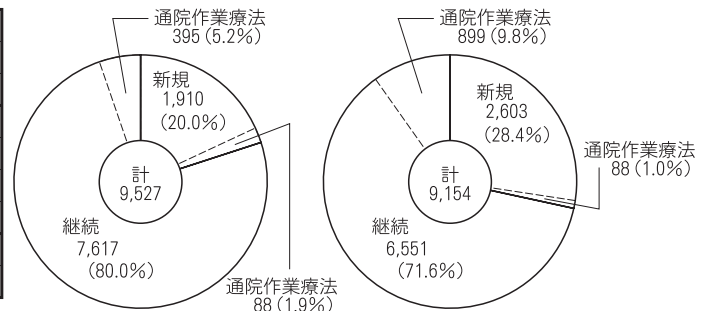
であり、その内容及び実績は次表の通りである。

#### ア) 患者受入れ状況

##### a OT実施人員

(単位：人)

区分 年度	実 人 員					
	新 規		継 続		計	
	男	女	男	女	男	女
20	203		140		343	
	108	95	90	50	198	145
19	111		181		292	
	51	60	99	82	150	142
対前年度比 (%)	182.9		77.3		117.5	
	211.8	158.3	90.9	61.0	132.0	102.1



##### b 月別男女別実施延人員

H19年度 延人数 (人)

H20年度 延人数 (人)

年度	月	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
		20	749	692	835	775	766	668	787	650	785	776	842	829	9,154												
19	879	915	869	821	868	630	845	835	724	715	708	718	9,527														
対前年度比 (%)	85.2	75.6	96.1	94.4	88.2	106.0	93.1	77.8	108.4	108.5	118.9	115.5	96.0														
	93.5	71.8	78.8	70.3	99.0	90.5	87.1	111.3	83.4	98.6	101.4	115.8	89.4	101.1	75.5	82.4	103.1	119.2	120.0	90.7	129.0	101.5	132.5	86.4	97.5	93.1	

##### c 月別男女別実施実人員

年度	月	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
		20	160	160	176	169	170	171	174	191	204	202	210	204											
19	187	187	185	183	176	170	175	176	172	169	160	150													
対前年度比 (%)	85.6	85.6	95.1	92.3	96.6	100.6	99.4	108.5	118.6	119.5	131.3	136.0													
	98.0	70.6	99.0	68.3	109.7	76.8	103.8	76.9	101.9	88.9	105.9	92.8	99.1	100.0	109.4	107.1	127.0	106.9	124.8	111.8	135.4	125.0	139.8	129.8	

d 疾患別受け入れ状況

区分 年度	F 0	F 1	F 2	F 3	F 4	F 6	F 7	F 8	G 4	その他	計
	症状性を 含む器質 性精神障 害	精神作用物 質使用によ る精神およ び行動の障 害	統合失調 症	気分（感 情）障害	神経症性 障害	成人の人 格および 行動の障 害	精神遅滞	心理的発 達の障害	てんかん		
20	10	6	229	68	7	5	8	1	9	0	343
19	6	4	247	17	0	0	11	0	6	1	292
対前年度 比（%）	166.7	150.0	92.7	400.0	—	—	72.7	—	150.0	0.0	117.5

e 年齢別受け入れ状況

区分 年度	20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計		平均年齢
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
20	5		31		73		78		78		78		343		48.0
	3	2	21	10	44	29	46	32	48	30	36	42	198	145	
19	2		23		57		64		82		64		292		48.8
	2	0	13	10	32	25	38	26	41	41	24	40	150	142	
対前年度 比（%）	250.0		134.8		128.1		121.9		95.1		121.9		117.5		
	150.0	—	161.5	100.0	137.5	116.0	121.1	123.1	117.1	73.2	150.0	105.0	132.0	102.1	

f 病棟別患者受け入れ状況

区分 年度	A 2		A 3		B 1		B 2		B 3		C 1		C 2		C 3	外来		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	男	女	男	女
20	69		69		5		25		46		—		46		56	27		343	
	38	31	46	23	4	1	15	10	3	43	—	—	21	25	56	15	12	198	145
19	—		53		6		24		48		16		65		56	24		292	
	—	—	41	12	3	3	17	7	—	48	11	5	11	54	56	11	13	150	142
対前年度 比（%）	—		130.2		83.3		104.2		95.8		—		70.8		100.0	112.5		117.5	
	—	—	112.2	191.7	133.3	33.3	88.2	142.9	—	89.6	—	—	190.9	46.3	100.0	136.4	92.3	132.0	102.1

(イ) 転 帰

区分 年度	継続	終													了	中断	計
		就 労	就 学	作 業 所	デイ ・ ケ ア	生保 活健 教室所	家 庭 復 帰	施 設	ア 単 パ ー ト 身	転 院	ス テ ッ プ ア ッ ト	作 業 療 院	通 法 院	そ の 他			
20	190	0	0	6	8	0	82	18	7	18	3	2	0	9	153		
19	140	0	0	12	18	0	37	32	5	13	13	4	2	16	152		
対前年度 比（%）	135.7	—	—	50.0	44.4	—	221.6	56.3	140.0	138.5	23.1	50.0	0.0	56.3	100.7		

(ウ) プログラム内容及び実施状況

プログラム活動 (Program Activity)		件数	延人員	プログラム活動 (Program Activity)		件数	延人員
グループ コミュニケーション 及び自己表現	今月のOTについて (含、プログラム説明)	24	164	グループ レクリエーション プログラム ワーク	音楽及びビデオ鑑賞	21	169
	来月のOTについて (含、プログラム作り)	19	156		散歩 (含、初詣、花見、梅取、芋掘等)	11	92
	喫茶かもめについて	4	49		ゲーム	8	49
	弥生会について	0	0		季節行事 (含、新年会、豆まき、雛祭り、七夕、クリスマス会、仕事納め会等)	7	63
	バス旅行について	1	7		バス旅行	1	9
社 会 復 帰 訓 練	職業前訓練	0	0	その他	芹香まつり参加 (含、準備)	6	26
	栄養講座	0	0		看護の日作品展 (含、準備)	2	5
	S.S.T (生活技能訓練)	43	206		日精看コーラス大会参加	1	5
	退院直前訓練	72	211				
A D L 訓 練	料理	13	59	グループワーク計		1,089	7,135
	掃除 (含、片付け)	20	121	個人 プログラム ワーク	ネット手芸	176	452
	環境整備、身辺処理	2	14		刺繍	175	747
活 身 体 的	体育	44	278		革細工	164	422
	体力づくり散歩	11	53		絵画	82	119
活 創 動 作	あすなるグループワーク	88	724		洋裁	63	80
	ステップ I グループワーク	89	594		小物作り	60	64
病 棟 O T	A-2	69	594		編み物	53	56
	A-3	37	446		刺し子	21	21
	B-3	42	471		籐細工	20	20
	C-2	40	612		段通	14	14
	C-3	35	557	スティック手芸	13	13	
フ リ ー ス ペ ー ス	スポーツ	42	164	銅板細工	5	5	
	ものづくり	45	80	職前的活動	3	3	
	園芸	50	215	ADL活動	3	3	
	コーラス	45	135	紙細工	3	3	
	体操とゲーム	39	109	手紙書き・作文・感想文	2	2	
趣 味 ・ 教 養	書道	50	139	ペン習字	1	1	
	茶道	1	5	個人プログラム計		858	2,025
	茶話会・誕生会	19	139	総 計		1,947	9,160
				通院作業療法	235	899	
				面接 (含、退院直前訓練、アンケート)	5	5	
				相談、及びアフターフォロー (含、家族面接)	55	55	
				病棟訪問	5	5	

(エ) 教育（見学・実習・講義）

a 見学・研修受入れ

（単位：人）

年 度	区 分	行政関係者	医療関係者	学 生 (医師・看護婦等)	院 内		そ の 他	計
					職 員	患 者		
20	件 数	1	8	66	12	12	8	107
	人 員	15	14	123	14	12	8	186
19	件 数	2	4	59	13	17	13	108
	人 員	10	4	122	18	24	15	193
対前年度比 (%)	件 数	50.0	200.0	111.9	92.3	70.6	61.5	99.1
	人 員	150.0	350.0	100.8	77.8	50.0	53.3	96.4

b 実習生の受入れ

内 容	対 象	実 施 日	人 数
作業療法 4年インターン実習	横浜 YMCA 学院専門学校作業療法学科	平成20年 4月14日～5月7日	1
作業療法 4年インターン実習	昭和大学保健医療学部作業療法学科	平成20年 10月27日～12月3日	1

### (3) デイ・ケア療法

外来の精神科患者を対象に社会生活機能の回復を図るため、昭和57年6月から試行し、昭和61年4月に精神科デイ・ケア療法大規模適合施設の承認を受け、本格実施した。実施にあたっては、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士の多職種チームを構成し、対象者の社会生活支援を行ってきた。

開催日は月曜日から金曜日の週5日で、平日にいつでも利用できるようになっている。治療内容は、心理教育的プログラムを中心に集団精神療法や日常生活訓練、SSTや就労関連プログラムなど利用者の要望に応えられるよう多様に及んでいる。平成18年度から診療報酬の改正に伴い、3時間程度のショート・ケアが新設され、当院デイ・ケアでも8月10日より導入し、新規入所者で急性期離脱後の活動性の低い方や高齢で体力のない方、面接を中心とした支援で就労を継続したい方などに活用していただいている。また、平成15年に医療観察法が制定され、平成17年より施行された。これを受け当院デイ・ケアでも医療観察法の対象者を積極的に受け入れている。

更に、訪問支援の実施としては、作業所・生活訓練施設・授産施設などの福祉施設やハローワーク・就労相談センターなどの就労支援機関へも同行し、スムーズな地域生活への導入や移行に取り組んでいる。院内の他部門との連携としては、訪問看護部門との協力体制で主に単身者の生活を支援している。また、退院促進の一環として、退院間近の入院患者も受け入れ、スムーズな地域生活への移行を図っている。

地域との連携では、地区の保健福祉センターや上記同様の福祉施設の他、他デイ・ケアとの交流（バレーボール大会や作品展）や港南区ネットワーク祭りなどに参加し、交流を深めている。そして、神奈川デイ・ケア連絡会の事務局補佐でもあることから、県内デイ・ケア施設との連携にも積極的に取り組んでいる。

その他、退所後の支援として、退所者やその家族との面接も行なっている。

ア デイ・ケア参加者

(ア) 月別参加者数

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (月平均)
在 籍 者 数		155	150	146	146	139	137	135	139	138	134	133	134	1,686 (140.50)
(うち入院)		9	8	7	7	7	5	7	6	6	3	5	4	74 (6.17)
(うち医療観察法通院者)		5	6	5	5	5	5	7	8	7	7	7	9	76 (6.33)
延	参加者延数	1,160	1,044	1,109	1,131	1,022	1,035	1,101	952	1,025	947	944	1,113	12,583
	(うち入院)	54	35	46	33	58	50	39	62	34	30	29	46	516
	(医療観察法通院者)	17	8	15	29	17	12	25	33	41	41	41	52	331
数	ショート延数	297	270	215	234	212	233	252	236	264	230	247	304	2,994
	(うち入院延数)	46	35	25	21	26	23	17	21	11	11	18	38	292
	試験就労のべ	147	158	177	148	145	180	208	172	188	153	178	119	1,973
	福祉施設等通所延数	193	155	235	250	230	220	227	191	190	187	178	171	2,427
一 日 平 均	参加者一日平均	55.2	52.2	52.8	51.4	48.7	52	50	52.9	53.9	49.8	49.7	53	621.4
	(うちショート)	14.14	13.5	10.24	10.64	10.1	11.65	11.45	13.11	13.89	12.11	13	14.48	148.31
	試験就労一日平均	7	7.90	8.43	6.73	6.90	9	9.45	9.56	9.89	8.05	9.37	5.67	97.95
	福祉施設等通所一日平均	9.19	7.75	11.19	11.36	10.95	11	10.32	10.61	10	9.84	9.37	8.14	119.73
実 施 日 数		21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	21	243

(イ) 地域別参加者数

地域別 年度	横 浜 市																横	鎌	川	相	藤	そ	合	
	鶴見区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区	磯子区	港北区	戸塚区	栄区	泉区	神奈川区	金沢区	緑区	青葉区	小計	須賀市	倉市	崎市	模原市	沢市	の他	計
平成19年度	1	3	5	35	56	21	3	16	1	25	11	2	3	8	1	1	192	3	1	4	1	1		202
平成20年度	2	6	5	28	50	23	2	15	0	30	12	3	4	5	1	1	187	3	1	2	1	1	1	196

(ウ) 年齢・病名別参加者数

病 名	年 齢			19歳以下			20～29歳			30～39歳			40～49歳			50歳以上			計		
	性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
統 合 失 調 症 (F2)		0	0	0	24	11	35	46	20	66	26	10	36	16	7	23	112	48	160		
気分(感情)障害 (F3)		0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	2	3	2	5	5	4	9		
人格及び行動障害 (F6)		0	0	0	1	0	1	1	1	2	1	0	1	0	0	0	3	1	4		
精 神 遅 滞 (F7)		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
そ の 他		0	0	0	4	5	9	3	2	5	3	0	3	3	2	5	13	9	22		
計		0	0	0	29	16	45	51	25	76	31	11	42	22	11	33	133	63	196		

## イ プログラム内容

プログラム		小計	内容・目的
神 集 療 法 精	全体ミーティング	17	係や次月の外出、料理等を話し合う。
	グループミーティング	0	グループ毎に外出先を調べたり、行動日程を企画する。
	小計	17	
職 業 前 訓 練	作業	40	集中力・持続力の育成を目的として行う。
	係の仕事	24	それぞれの分担された係りを体験していく中で仕事をする事の心構えや責任感を養っていく。
	就労勉強会	13	就労のイメージが湧くことや就労の準備性を高めたり、現実的な目標を見出す為の勉強会。
	ひばり就労訓練	7	知的障害者施設で単純作業を行う。
	クロネコ就労訓練	6	就労の意識づけや知識を高めたり、病気との付き合い方を学び、今後の就労形態を考える。
	クロネコ就労実習	0	企業内実習として御中元・御歳暮時期に、配送の仕事をする。
	小計	90	
創 作 活 動	創作	15	創造性を養い、情緒の表出を図るため、絵画、手工芸、文芸、共同制作等を行う。
	押し花	9	外部講師の指導により押し花作品を楽しみながら制作する。
	物作りサークル	12	様々な手芸品に挑戦する中で創る楽しさを体験していく。
	絵手紙	11	外部講師の指導により絵手紙作品を楽しみながら制作する。
	お菓子づくり	12	お菓子作りに興味のある人が楽しみながらお菓子を作る。
	思い出アルバム	12	外出や行事の写真を思い出としてアレンジする。
	竹トンボ・布草履作り	1	夏のイベントとして外部講師の指導により布ぞうりや竹とんぼを楽しみながら制作する。
	小計	72	
日 常 生 活 指 導	料理	34	能力・目的別にグループ分けをし、調理実習を行う。
	防災訓練	1	院内の訓練に参加することで非常時に備える。
	大掃除	1	日常生活の一環として年末に実施。
	生活クラブ	14	今後の生活の為に、日常生活に必要な知識・技能の習得を図る。
	小計	50	
活 ク ラ ブ 動	クラブ・グループ活動	71	同好のメンバーが集まり、自主的にグループ運営を行う。
	曜日クラブ	73	全体で行いたいものを話し合い、実施。
	小計	144	
運 動 療 法	スポーツ	67	体力作り、体力の維持を目的とし、2グループに分かれ実施。
	熱血野球部	11	同好のメンバーが集まり、その活動を通してチームワークや楽しみを体験していく。
	ファイトクラブ	6	体力づくりとメンバー間の親睦を図る。
	スポーツ大会(含む、準備)	11	他施設との交流会の準備・実施。
	体力測定	2	現在の体力を把握し、今後の方向性の目安とする。
	小計	97	
音 楽 療 法	コーラス(含む、大会)	26	外部講師の指導により、楽しみながら合唱の練習をし年数回成果を発表。
	ドラム	6	外部講師の指導により、ドラムを中心とした打楽器を皆で演奏をする。
	楽器演奏	12	楽器に興味のある人が集まり、楽しみながら演奏をする。年数回成果を発表。
	コーラスコンサート	0	地域ボランティアコーラスグループによるコンサート
	琴演奏	2	夏のイベントとして外部講師の琴演奏を鑑賞し日本の伝統に親しむ。
小計	46		
認 知 行 動 療 法 他	生活設計研究会	20	病気や薬、社会制度や経済的な知識等を身に付けるための勉強会。
	シニアライフ	6	親亡き後や自分の老後についての勉強会。
	健康・栄養講座(健診含む)	10	身体的な自己管理に関心を持つことを目的とし健康に関する講義を受ける。
	生活技能訓練	19	対人関係の改善を目的に、課題の場面を演じながら訓練を行う。
	服薬クラブ	11	服薬の必要性を学び自己管理の練習をする。
	気持ちのコントロール	11	怒りを中心とした自分の感情を認識しコントロールする方法を学ぶ。
	福祉講座・講演会	10	精神障害者の動向や福祉制度の状況などを知る機会とする。
	ダイエット	10	肥満が及ぼす健康上の問題を認識し、ダイエットの手法を学ぶとともに体重の自己管理をしていく。
	社会人クラブ	10	社会生活する上での常識とされることやマナーの実際を学び役立てていく。
小計	107		
レ ク リ エ ー シ ョ ン 活 動	パーティー(含む、準備)	18	忘年会、歓送迎会等の準備、実施。
	外出(含む、準備)	15	社会性を養い、視野を広げることを目的とする。
	宿泊(含む、準備)	0	社会性を養い、視野を広げることを目的とする。
	芹香祭り・港南ネット祭り・デイケア作品展(含む、準備)	24	入院患者・職員との交流、地域福祉施設との交流を図るために参加。
	バスハイク(含む、準備)	3	社会性を養い、メンバーの親睦を図るため、1日のバスハイクを実施。
	木曜ロードショー	11	興味関心のある映画等を選び準備、鑑賞していく。
	かき氷大会	2	夏の風物詩としての行事を行い楽しむ。
	すいか割り	2	夏の風物詩としての行事を行い楽しむ。
小計	75		
そ の 他	ステップアップグループ	96	入所間もない方や病状により活動性の低い方を対象に小集団で穏やかな内容のプログラムを展開。
	パソコン	33	外部講師の指導により、パソコンの操作を学ぶ。
	ニュースの窓	13	視野を広げる目的で各自新聞を持ち寄り自分に関心のある記事を紹介する。
	書道	10	外部講師の指導により、各自好きな言葉を書き、添削を受ける。年数回成果を発表。
	茶道	12	外部講師の指導により、お茶のたて方、飲み方を学ぶ。
	英会話	7	外部講師の指導により、簡単な日常会話を学ぶ。
	華道	8	生花店へ出掛け、花を購入し、外部講師の指導で活ける。年数回成果を発表。
	DCオリエンテーション	8	新入所者に対し、メンバーがデイケアの説明を行う。
	アロマセラピー	4	外部講師の指導により、いろんな香りを楽しみながら、リラックスする方法を学ぶ。
	植物を育てる	10	花や野菜などの植物を育てる事で季節を感じながら優しさを育む。
	お茶を楽しむ	6	夏のイベントとして外部講師の指導により布ぞうりや竹とんぼを楽しみながら制作する。
	メイクアップ講座	1	外部講師の指導により、メイクの方法を学び整容への関心を高める。
	頭のトレーニング	11	クイズ・パズル等を行うことで頭のリラックス、及び活性化を図る。
	小計	219	
	合 計	917	

## ウ 転 帰

(単位：人)

性別	転帰 中 断	終 了			D C延長	6ヶ月未満	計
		自 立	半 自 立	家庭内適応			
男	16	7	12	0	74	17	126
女	8	8	4	0	37	8	65
計	24	15	16	0	111	25	191

「中 断」…病状悪化、入院している者

「自 立」…自己就労、保護就労、就学、家事労働についている者

「半 自 立」…地域作業所、保健所生活教室、他機関デイ・ケア等への通所者

「家庭内適応」…家事手伝い等を行っている者

「D C 延長」…終了の条件が整わず延長を行い、平成18年3月31日現在通院している者

「6ヶ月未満」…期間（6ヶ月）が終了しておらず、平成18年3月31日現在通院している者

## エ 個別支援

### (ア) 相談件数

(単位：人)

手 段	本 人	家 族	退 所 者	参加希望者	その他関係機関など
電 話	61	42	3	—	35
面 接	748	100	5	—	13
見 学	59	9	—	—	68

### (イ) 訪問件数

(単位：人)

職場、福祉施設など	3
-----------	---

### (ウ) 科外カンファレンス（医療観察法会議含む）

84件

## オ 家族会

(単位：人)

開 催 月	テ ー マ	開催数	参加者数
4月	個別懇談・親子面接	5	42
5月	講演会「家族の関係を良くするSST講座」		
6月	「統合失調症の病気」と「薬について」	2	15
7月	家族交流会（ピエロボランティア）	2	11
8月			
9月	講演会「悪徳商法に気をつけよう」	1	7
10月	個別懇談・親子面接	4	32
11月			
12月	「統合失調症の病気」と「薬について」	2	17
1月			
2月	講演会「就労支援」	1	16
3月	施設見学 横浜市総合保健医療センター	1	4
合 計		18	144



## 力 教 育

### (ア) 研修・見学

(単位：人)

	医療関係者	福祉関係者	行政関係者	そ の 他	合 計
研 修	23	27	1	0	51
見 学	18	1	4	3	26

## (4) 検査業務

### ア 心理業務

心理業務のうち心理検査は、精神医学的診断を補うためや、パーソナリティーの理解を深める目的で、必要に応じていくつかの検査を組み合わせて実施している。心理療法は患者と1対1で対話を重ねることにより、必要な心理的ケアや支えを提供するもので対話以外の技法を用いることもある。このうち、心神喪失者等医療観察法に関わる心理検査は5件、心理面接は4件であった。

今年度は、新たに設置されたストレスケア病棟に専属の心理士が配置され、心理検査や個別面接の実施のほか、OT、PSWなどのコメディカルと連携して、CBTなどの集団精神療法や作業療法の運営・実施に参加した。CBTでは、うつになりやすいパターンに気づき、よりよい対処法を集団で学んでいる。

また、今年度より、せりがや病院の心理検査業務が兼任となり、3件実施した。

SST（生活技能訓練）運営に関わる業務では、研修会（6月28日、6月29日実施）、懇談会（3月6日実施）の事務局を担当した。

### (ア) 心理検査（20年度）

(単位：人)

検 査 名		外 来	入院(A2病棟)	入院(他の病棟)	計
知 能 検 査	W A I S - R	10	0	13	23
	W A I S - III	0	3	1	4
	コ ー ス 立 方 体 等	0	0	3	3
人 格 ・ 性 格 検 査	ロ ー ル シ ャ ッ ハ	6	3	10	19
	S C T	3	3	6	12
	バ ウ ム テ ス ト	17	2	21	40
	人 物 画 等	18	0	24	42
	T E G II	0	54	2	56
そ の 他	M M S , H D S - R 等	4	7	7	18
	H A M - D	3	33	0	36
	そ の 他	5	35	1	41
計		66 (32)	140 (52)	88 (37)	294 (121)

(注) 計欄の( )は実人数を示す

### (イ) 心理療法（20年度）

	外 来	入院(A2病棟)	入院(他の病棟)	計
実 人 数	30	7	6	43
延 人 数	261	51	27	339



ウ) その他 (20年度)

水曜SSTへの参加 (打合せ含む)	13回
SST研修会 自立支援者懇談会	3日
多職種チーム会議 等への参加	84回
A2病棟 集団精神療法 (CBTなど)	75回
A2病棟 作業療法プログラムへの参加	45回

イ 放射線業務

検査科放射線は芹香・せりがや両病院のX線検査及びCT検査を行っている。平成18年度より、せりがや病院の入院患者様を毎週月・木曜日に芹香病院へ搬送し、外来患者は随時芹香病院で検査を行っている。

a 芹香病院

検査は入院患者様の撮影が主であるため、本年度はA2病棟の入院患者様の増加と共に、一般撮影、CT撮影共に対前年度比でそれぞれ約20%、25%増となったが、一昨年度とほぼ同等である。

b せりがや病院

外来・入院患者数の減少と共に一般撮影は対前年度比約5%減、CT撮影は横這い状態である。

ア) 一般撮影業務件数 (人数及び撮影回数)

a 芹香病院

部位 月	頭 部				胸 部				腹 部				椎 骨				四 肢 骨				そ の 他				合 計			
	人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数		人数		回数	
	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室	ポータル	撮影室
H20.4		1		1	13	89	13	111	11	52	11	80	1		2	4		6		1		1		28	144	30	195	
5					21	81	21	110	13	50	13	71	1		2		7		15		2		3		34	141	34	201
6					11	44	11	52	5	26	5	31					3		7		2		4		16	75	16	94
7		3		5	8	72	8	88	7	38	7	56					3		8						15	116	15	157
8		1		2	12	53	12	58	9	24	9	28	2		4		2		6		2		2		21	84	21	100
9					7	83	7	98	4	70	4	92	1		2	3	8	6	19	1	2	1	4		15	164	18	215
10		1		2		65		71		49		62	1		2		6		11		5		7		0	127	0	155
11					8	47	8	55	6	36	6	49	1		2	2		4							16	84	18	106
12					17	66	17	76	9	44	9	59	1		2		4		7		4		6		26	119	26	150
H21.1					8	75	8	89	6	53	6	79	2		4		1		2						14	131	14	174
2					4	70	4	88	3	45	3	67					5		16		1		1		7	121	7	172
3					9	78	9	91	7	49	7	73					2		7						16	129	16	171
合計	0	6	0	10	118	823	118	987	80	536	80	747	0	10	0	20	9	41	16	98	1	19	1	28	208	1,435	215	1,890
構成比(%)	0.0	0.4	0.0	0.5	7.2	50.1	5.6	46.9	4.9	32.6	3.8	35.5	0.0	0.6	0.0	1.0	0.5	2.5	0.8	4.7	0.1	1.2	0.0	1.3	12.7	87.3	10.2	89.8

b セリがや病院

月	頭 部		胸 部		腹 部		椎 骨		四 肢 骨		そ の 他		合 計	
	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数
H20.4			16	16	1	1			1	4			18	21
5			30	31									30	31
6			26	28									26	28
7			36	37									36	37
8			24	26							1	2	25	28
9			28	28	3	4							31	32
10			27	29									27	29
11			24	25	2	2			1	2			27	29
12	1	1	24	24									25	25
H21.1			25	26									25	26
2			28	29	1	2			1	2			30	33
3			27	29	2	2							29	31
合 計	1	1	315	328	9	11	0	0	3	8	1	2	329	350
構成比(%)	0.3	0.3	95.7	93.7	2.74	3.1	0.0	0.0	0.9	2.3	0.3	0.6	100.0	100.0

(イ) CT検査業務件数

a 芹香病院

月	頭 部			胸 部			腹 部			椎 骨			四 肢 骨			そ の 他			合 計		
	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数
H20.4	55	1,097	1,196	4	164	299	5	197	325										64	1,458	1,820
5	47	942	975	3	86	197	1	34	34										51	1,062	1,206
6	42	851	869	2	63	126	2	67	67										46	981	1,062
7	54	1,085	1,081	1	27	54	2	74	77										57	1,186	1,212
8	35	710	710	3	128	235	1	46	46				1	64	84				40	948	1,075
9	39	783	821	1	34	67	2	94	108										42	911	996
10	46	955	1,003				2	112	127										48	1,067	1,130
11	35	701	699	2	82	143	3	151	174										40	934	1,016
12	52	1,048	1,174	3	138	224	4	198	278										59	1,384	1,676
H21.1	49	976	1,016	3	118	209	2	92	93										54	1,186	1,318
2	50	1,012	1,121	3	127	225	4	138	142										57	1,277	1,488
3	45	902	969	6	330	498	6	207	209										57	1,439	1,676
合 計	549	11,062	11,634	31	1,297	2,277	34	1,410	1,680	0	0	0	1	64	84	0	0	0	615	13,833	15,675
構成比(%)	89.3	80.0	74.2	5.0	9.4	14.5	5.5	10.2	10.7	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

b セリがや病院

部位 月	頭 部			胸 部			腹 部			椎 骨			四 肢 骨			そ の 他			合 計		
	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数
H20.4	20	400	419	1	53	105	1	69	96										22	522	620
5	28	558	558																28	558	558
6	24	481	481																24	481	481
7	33	658	658	2	61	115													35	719	773
8	24	480	547																24	480	547
9	26	521	521																26	521	521
10	28	563	563																28	563	563
11	25	506	506	1	34	68	1	42	41										27	582	615
12	26	533	561	2	118	189													28	651	750
H21.1	21	422	422																21	422	422
2	27	546	569	1	54	108													28	600	677
3	29	586	608	2	110	170													31	696	778
合 計	311	6,254	6,413	9	430	755	2	111	137	0	0	0	0	0	0	0	0	0	322	6,795	7,305
構成比(%)	96.6	92.0	87.8	2.8	6.3	10.3	0.6	1.6	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

(ウ) 一般撮影業務件数推移

		10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	前年度比(%)
芹香病院	延べ人数	1,148	1,213	1,340	1,451	1,299	1,326	1,728	2,202	1,929	1,393	1,643	117.9
	延べ回数	1,702	1,729	1,994	1,936	1,709	1,649	2,278	2,920	2,619	1,877	2,105	112.1
せりがや病院	延べ人数	981	688	519	473	474	420	393	353	384	350	329	94.0
	延べ回数	1,692	1,138	876	827	782	544	505	421	400	373	350	93.8
合 計	延べ人数	2,129	1,901	1,859	1,924	1,773	1,746	2,121	2,555	2,313	1,743	1,972	113.1
	延べ回数	3,394	2,867	2,870	2,763	2,491	2,193	2,783	3,341	3,019	2,250	2,455	109.1

(エ) CT検査業務件数推移

		10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	前年度比(%)
芹香病院	延べ人数	214	161	213	178	150	197	463	518	625	487	615	126.3
	延べ回数	2,765	2,033	2,706	2,162	1,844	2,471	8,613	11,463	14,317	10,612	13,833	130.4
	画像処理	3,020	2,266	2,864	2,209	1,892	2,605	9,668	14,280	17,451	12,375	15,675	126.7
せりがや病院	延べ人数	517	527	474	454	470	373	381	318	374	322	322	100.0
	延べ回数	6,258	6,404	5,802	5,492	5,650	4,505	4,604	4,089	7,174	6,504	6,795	104.5
	画像処理	6,451	6,529	5,909	5,590	5,670	4,542	4,653	4,094	7,277	6,665	7,305	109.6
合 計	延べ人数	731	688	687	632	620	570	844	836	999	809	937	115.8
	延べ回数	9,023	8,437	8,508	7,654	7,494	6,976	13,217	15,552	21,491	17,116	20,628	120.5
	画像処理	9,471	8,795	8,773	7,799	7,562	7,147	14,321	18,374	24,728	19,040	22,980	120.7

## ウ 臨床検査業務

### a 芹香病院

項目 \ 件数	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減
一 般 検 査	34,730 (3,473)※ 件	(2,577)※ 件	件
血 液 学 的 検 査	14,095 (2,685)※	(3,649)※	
生 化 学 的 検 査	56,220	60,436	
免 疫 学 的 検 査	3,632	5,471	
微 生 物 学 的 検 査	322	235	
病 理 学 的 検 査	1	0	
内 分 泌 学 的 検 査	1,182	1,542	
生 理 機 能 検 査	816	663	
そ の 他 の 検 査	0	0	
計	68,331	74,573	

### b セリがや病院

項目 \ 件数	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減
一 般 検 査	13,190 (1,319)※ 件	(692)※ 件	件
血 液 学 的 検 査	7,496 (1,249)※	(948)※	
生 化 学 的 検 査	25,430	15,720	
免 疫 学 的 検 査	1,614	1,513	
微 生 物 学 的 検 査	38	25	
病 理 学 的 検 査	0	0	
内 分 泌 学 的 検 査	80	461	
生 理 機 能 検 査	534	383	
そ の 他 の 検 査	0	0	
計	30,264	19,742	

※（ ）内は検査人数を示す

## (5) 地域医療相談室業務

平成17年度から地域支援を視野に入れ、「地域医療相談室」と名称を変更した。相談内容は医療費・生活費などの経済的なこと、介護保険や障害者自立支援法などの福祉制度のこと、デイケアや地域作業所などの社会資源のこと、家族との関係や患者本人の対応法など多岐にわたっている。

平成7年度より医師・看護師・ソーシャルワーカーでSST（生活技能訓練）を実施している。

救急医療については平成15年度にB1病棟が26床の救急病棟として整備され、そのうち12床が神奈川県基幹病院としてシステム救急用のベッドとなっている。残りの14床が院内救急用のベッドとなっている。救急については、本人・家族との面接や生活問題に関する調整をはじめ、県・横浜市・川崎市担当課や後方病院との連絡調整などに関わっている。

平成15年度から実施された訪問看護の充実を図るために、18年度から訪問看護スタッフが4名配置された。

平成15年度から長期在院者の退院促進に対する取り組み、入院患者の減少に伴い、平成20年3月にA1病棟（認知症病棟）とC1病棟（一般開放病棟）が閉棟した。

平成17年度から施行された医療観察法における通院指定医療機関として、通院医療および鑑定入院、特例措置入院を受け入れている。観察担当者（兼任）が1名配置されて対応している。

平成20年4月からは自殺予防対策の一環としてうつ病を対象としたストレスケア病棟（A2）病棟が開棟し、病棟担当者（専任）が1名配置されて対応している。

家族に対する支援としては病院家族会（20年度で解散）への協力、家族講座を実施している。また、病棟ごとの家族懇談会にも協力をしている。地域支援については、地域作業所、グループホームの運営委員会、横浜市退院促進支援事業協議会、区の各種ネットワーク会議等に参加している。

## ア ソーシャルワーク業務

### (ア) 内容別相談件数

（ ）は認知症、〈 〉は救急、{ }は医療観察を再掲

内 容	平成20年度			平成19年度計
	外 来	入 院	計	
受療相談・調整	1,555 { 194} ( 605)〈 76〉	233 { 42} ( 18)〈 87〉	1,788 { 236} ( 623)〈 163〉	1,897 { 50} ( )〈 174〉
経済関係 (32条申請、生活保護、年金、手当等)	751 { 130} ( 11)〈 30〉	2,043 { 52} ( 34)〈 302〉	2,794 { 182} ( 45)〈 332〉	2,799 { 51} ( )〈 363〉
治療生活に関すること (ケースワーク、家族調整他)	1,653 { 194} ( 6)〈 8〉	4,041 { 161} ( 244)〈 537〉	5,694 { 355} ( 250)〈 545〉	5,686 { 160} ( )〈 638〉
社会復帰に関すること（退院、施設他）	367 { 135} ( 0)〈 0〉	3,032 { 44} ( 174)〈 19〉	3,399 { 179} ( 174)〈 19〉	3,378 { 126} ( )〈 19〉
仕事に関すること	170 { 56} ( 0)〈 0〉	104 { 24} ( 309)〈 18〉	274 { 80} ( 309)〈 18〉	234 { 41} ( )〈 24〉
転院に関すること	67 { 18} ( 0)〈 0〉	641 { 13} ( 62)〈 321〉	708 { 31} ( 62)〈 321〉	712 { 3} ( )〈 302〉
院内及び院外関係機関との連絡調整、 その他	4,143 { 317} ( 0)〈 91〉	10,091 { 59} ( 245)〈 1,495〉	14,234 { 376} ( 245)〈 1,586〉	14,231 { 354} ( )〈 1,536〉
計	8,706 {1,044} ( 622)〈 205〉	20,185 { 395} ( 1,086)〈 2,779〉	28,891 {1,439} ( 1,708)〈 2,984〉	28,937 { 785} ( )〈 3,056〉

### (イ) 実施方法別相談件数

{ }は医療観察、（ ）は認知症、〈 〉は救急を再掲

内 容	平成20年度			平成19年度計
	外 来	入 院	計	
院内面接（患者、家族、院内関係者等）	2,784 { 197} ( 24)〈 64〉	7,415 { 73} ( 643)〈 911〉	10,199 { 270} ( 667)〈 1,055〉	10,177 { 243} ( 0)〈 1,067〉
電 話	4,311 { 194} ( 585)〈 123〉	9,510 { 100} ( 158)〈 1,563〉	13,821 { 294} ( 743)〈 1,686〉	13,814 { 179} ( 0)〈 1,789〉
文 書（訪問依頼表、カルテ調べ等）	333 { 92} ( 13)〈 11〉	1,901 { 47} ( 76)〈 125〉	2,234 { 139} ( 89)〈 136〉	2,308 { 104} ( 0)〈 156〉
訪 問（保健所、役所、作業所、家庭等）	879 { 301} ( 0)〈 3〉	510 { 56} ( 56)〈 21〉	1,389 { 357} ( 56)〈 24〉	1,368 { 158} ( 19)〈 16〉
カンファレンス	399 { 260} ( 0)〈 4〉	849 { 119} ( 103)〈 79〉	1,248 { 379} ( 103)〈 83〉	1,270 { 101} ( 0)〈 28〉
合 計	8,706 {1,044} ( 622)〈 205〉	20,185 { 395} ( 1,036)〈 2,779〉	28,891 {1,439} ( 1,658)〈 2,984〉	28,937 { 785} ( 0)〈 3,056〉

ウ) 被相談者別相談件数

{ }は医療観察、( )は認知症、< >は救急を再掲

内 容	平成20年度			平成19年度計
	外 来	入 院	計	
本 人	2,139 { 198} ( 249) < 14	4,888 { 107} ( 450) < 456	7,027 { 305} ( 699) < 470	7,051 { 188} ( ) < 481
家 族	2,113 { 198} ( 265) < 50	4,898 { 44} ( 367) < 589	7,011 { 242} ( 632) < 639	6,949 { 72} ( 0) < 650
院内関係者	2,108 { 262} ( 7) < 63	5,324 { 34} ( 89) < 823	7,432 { 296} ( 96) < 886	7,408 { 246} ( ) < 876
院外関係者(保健所、福祉事務所等)	2,137 { 151} ( 69) < 71	5,010 { 111} ( 84) < 819	7,147 { 262} ( 153) < 890	7,248 { 216} ( 0) < 970
その他(職場、後見人、民生委員等)	209 { 235} ( 32) < 7	65 { 99} ( 46) < 92	274 { 334} ( 78) < 99	281 { 63} ( 0) < 79
計	8,706 {1,044} ( 622) < 205	20,185 { 395} ( 1,036) < 2,779	28,891 {1,439} ( 1,658) < 2,984	28,937 { 785} ( 0) < 3,056

イ 訪問看護業務

訪問看護は、地域医療相談室に所属する専任の看護師4名、ソーシャルワーカー8名、及び、外来看護師6名、病棟看護師数名が連携し業務を実施している。訪問看護件数は年々増加し、この中には医療観察法対象の患者も含まれている。

交通手段としては3台の訪問看護専用車の他に、病院公用車、一般交通、タクシー(原則ワンメーター以内)を利用している。道路交通法の改正に伴い、駐車除外許可証が各訪問先の駐車許可証に変更となり、総務課と協力し許可証を取得した。訪問先は当院近隣の他、泉区、青葉区、港北区、川崎市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、逗子市と往復50km以上かかるケースもあり広範囲にわたっている。

地域との連携を大切にし、退院前カンファレンスや訪問看護評価カンファレンスでは、地域の関係者(福祉保健センターソーシャルワーカー、作業所職員、ケアマネージャー、ヘルパー等)に参加してもらい支援の共有化を図った。

実習生についても、ソーシャルワーカーの学生だけでなく、看護学生の実習も受け入れ、訪問看護の必要性と実際に学ぶ場を提供している。

訪問看護運営会議では、地域医療相談室と他部門との連携を図り、訪問看護の質の向上に努めた。

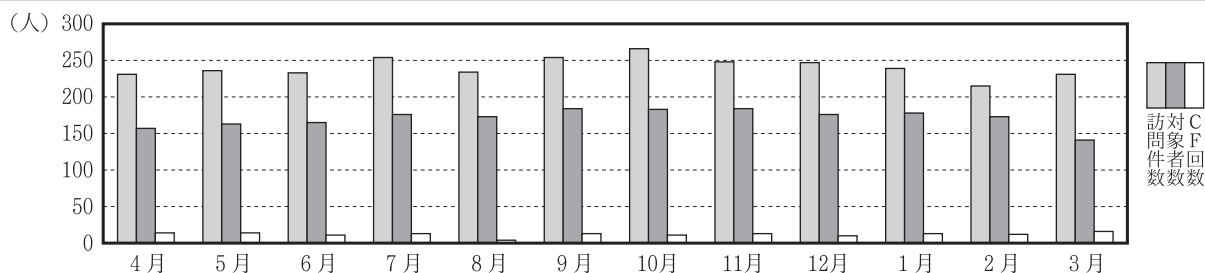
また、学習会を行い、訪問看護及び地域支援の理解普及に努めた。

ア) 平成15年度から平成20年度までの年間訪問看護件数

年度	15	16	17	18	19	20
件数	342	746	1,152	2,113	3,118	2,888

イ) 平成20年度月別訪問看護件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	231	236	233	254	234	254	266	248	247	239	215	231	2,888
対象者数	157	163	165	176	173	184	183	184	176	178	173	171	2,083
C F回数	14	14	11	13	4	13	11	13	10	13	12	16	144



(ウ) 平成20年度病診療報酬別訪問件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間件数
訪問Ⅰ	224	226	219	232	216	228	241	230	232	223	206	216	2,693
訪問Ⅱ	3	4	3	6	1	6	5	2	6	9	1	5	51
退院前訪問	4	6	11	16	17	20	20	16	9	7	8	10	144
合計	231	236	233	254	234	254	266	248	247	239	215	231	2,888

※ 訪問Ⅰ：患者宅等へ訪問し、患者または家族に対して、看護又は療養上必要な指導をするもの

訪問Ⅱ：施設等に入所している複数の患者に対して、看護又は療養上必要な指導をするもの

退院前訪問：入院中の患者の退院に先立って患者宅等を訪問し、患者又は家族に対して、退院後の療養上の指導を行うもの

(エ) 平成20年度月別新規申し込み件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	6	4	4	5	6	7	4	2	2	1	4	48

(オ) 平成20年度病棟別新規申し込み件数

外来	A2	A3	B1	B2	B3	C2	C3	合計
18	1	4	7	11	5	0	3	48

(カ) 平成20年度終了ケース

目標達成	施設利用	転院	入院	中絶・拒絶	死亡	その他	合計
5	1	9	0	3	4	7	29

(キ) 平成20年度疾患別分類

疾患名	統合失調症	依存症(薬物・アルコール)	躁鬱	知的障害	人格障害	強迫性障害	認知症	うつ病	その他	合計
人数	133	2	4	4	1	3	2	5	8	162

(ク) 平成20年度地域別分類

横浜市

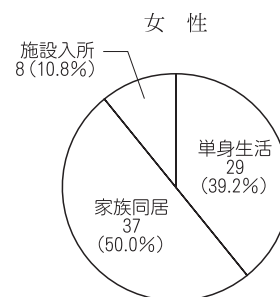
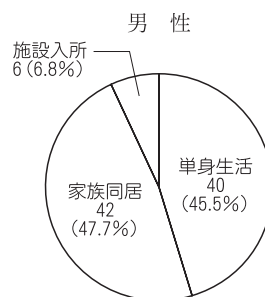
地域	港南区	南区	磯子区	戸塚区	中区	泉区	磯子区	栄区	緑区	神奈川区	金沢区	西区	港北区	旭区	鶴見区	瀬谷区	青葉区	合計
人数	31	41	9	17	8	4	10	5	2	4	6	2	2	4	1	2	1	149

県域

地域	川崎市	横須賀市	鎌倉市	逗子市	藤沢市	茅ヶ崎市	合計
人数	5	3	1	2	1	1	13

(ケ) 平成20年度男女・住居別分類

区分	男性	女性
単身生活	40	29
家族同居	42	37
施設入所	6	8
合計	88	74



(ロ) 平成20年度学習会状況

訪問運営会議	内 容
① 平成20年 5月27日	退院前訪問看護の充実に向けて
② 平成20年 7月22日	訪問看護の効果を高める社会資源についての学習
③ 平成20年11月25日	観察法についての学習
④ 平成20年 1月27日	事例を通して訪問看護を考える

ウ 医療観察制度の取組み

H17年7月15日より施行された「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察制度）」では、医療と司法が連携の上で対象者の社会復帰に必要な処遇（それに伴う入院及び通院医療）を行なうとされている。当院ではその内、全体を統括する通院運営会議（月に1回）、救急病棟であるB1病棟での鑑定入院、外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院医療を提供している。通院医療ではチーム会議（月に1回）の開催や保護観察所主催のケア会議への参加も行なっている。地域医療相談室に医療観察担当者（兼任）が配置され、訪問看護調整者と連携の上で全体調整及び直接処遇を行なっている。また、院内研修の実施および他県の医療機関等の視察も受け入れている。引き続き、円滑な制度運営に向けて、県内の指定医療機関のソーシャルワーカーおよび社会復帰調整官のネットワーク（かながわ司法精神医療福祉ネットワーク）を実施している。

院内研修	拡大勉強会 「医療観察法の概要・実際」	平成21年 2月20日・24日
視 察	国立病院機構さいがた病院	平成21年 7月31日
	東京都立松沢病院	平成21年 1月30日
	宮城県立精神医療センター	平成21年 2月27日
ネットワーク (開催場所)	日野病院 芹香病院 あさひの丘病院 横浜保護観察所	平成20年 4月16日 8月12日 12月16日 平成21年 3月10日

エ 家族講座

内 容	実 施 日	参加人数
①統合失調症とその治療（医師） ②生活援助のかかわり（看護師） ③訪問看護（訪問看護師）	平成21年 1月21日	23名
①作業療法、デイケア見学・説明 ②地域で安心して暮らすために（ソーシャルワーカー） ③当事者の話	平成21年 2月 4日	18名

オ 実習生受入

内 容	実 施 日	人 数
上智社会福祉専門学校	平成20年 7月24日～8月20日	1名
桜美林大学	平成20年 7月24日～8月 8日	1名
県立保健福祉大学	平成20年 8月19日～9月19日	2名
田園調布学園大学	平成20年10月30日・11月13日	各8名
県立保健福祉大学	平成21年 2月13日	19名



## カ 現任者の研修・見学受入

内 容	実 施 日	人 数
神奈川県立精神保健福祉センター	平成20年6月17日・24日・26日	11名
神奈川県障害福祉課新任研修	平成20年7月7日	2名
医療ソーシャルワーカー新任研修	平成20年12月5日・19日	9名
横浜市新任採用・転入医療ソーシャルワーカー研修	平成20年12月5日・19日	9名
港南区地域活動支援センター新任研修	平成21年2月13日	2名

## キ 講師派遣

場 所	内 容	実 施 日
ベリーノホテル一関	第46回全国自治体病院協議会精神科特別部会研修会	平成20年8月27日
ウィリング横浜	うつと社会復帰	平成20年9月15日
明治製菓本社	司法精神医療等人材養成研修会	平成20年10月25日
法務総合研究所	第1回社会復帰調整官初任研修	平成20年10月29日
明治製菓本社	第3回通院医療等研究会	平成21年2月7日
実践教育センター	障害児者支援課程	平成21年1月24日・31日・ 2月14日
港南区中央地域ケアプラザ	うつの家族講座	平成21年2月12日・19日・28日・ 3月12日
神奈川県社会福祉会館	第三者成年後見人養成研修	平成21年2月26日

## (6) 薬剤業務

調剤業務では、年間調剤数は入院110,542件、外来111,454件、合計221,969件である。一日平均調剤数は755.1件、一日平均処方せん枚数は224.7枚となっている。院外処方せんの発行枚数は、853枚で、発行率としては2.98%であった。

薬剤情報提供業務（外来）は、服薬アドヒアランス向上のため平成20年6月からは外来患者さん全員を対象に毎回行うこととした。保険点数算定件数は、処方内容に変更が無い場合は月1回のみ算定し18,083件だった。平成19年度の、3,638件と比較すると大幅に件数が増加した。

薬剤管理指導業務（入院）は、指導実患者数延べ14人、指導回数延べ26回実施した。そのうち退院時指導は4件だった。

製剤業務では、製剤品目22品目で、そのうち約束処方5品目である。錠剤の散剤化製剤は15品目調整し調剤業務の効率化を図った。

事故防止の推進のため、昨年度から引き続いて調剤の手順や方法、調剤室の人員配置等を見直し改善した。薬剤科の「医療安全報告書」の報告件数は平成18年度が106件だったが、平成19年度が58件、平成20年度が35件と着実に減少した。

薬品管理業務では、購入薬品数は671品目であった。薬効別薬品購入額では、中枢神経系用薬が、88.4%、循環器官用薬、消化器官用薬及びその他の薬剤が、11.6%であった。

向精神薬の管理は、緊急時に対応できる在庫管理を全品目実施した。又、調剤室の全薬品の在庫量の確認を半期毎に実施した。病棟・外来の常備・救急薬品の管理については、コンピュータを利用した品質確保（使用期限の確認）や薬剤師による点検を毎月実施した。

薬事会議は、6月、9月、12月、3月の4回開催した。新規採用医薬品18品目、緊急購入医薬品21品目、削除医薬品9品目であった。

医薬品情報管理業務では、「医薬品情報」（DIニュース）を15回発行した。

A 平成20年度調剤数

区 分	処方せん枚数	剤 数	延 べ 剤 数	1 日 平 均	
				剤 数	延 べ 剤 数
入 院	38,281 枚	110,542 件	644,740 剤	376.0 件	2,193.00 剤
外 来	27,780	111,454	2,427,103	379.1	8,255.50
計	66,061	221,996	3,071,843	755.1	10,448.40

B 平成20年度注射剤払い出し本数

注射せん枚数	500 ml 未 満	500 ml 以 上	計
3,764 枚	8,318 本	2,910 本	11,228 本

C 平成20年度製剤数

内 用 散 剤	外 用 液 剤		軟 膏 剤	錠 剤 の 粉 砕
	非 滅 菌 製 剤	滅 菌 製 剤		
17,948 g	305,000 ml	0 ml	0 g	46,440 錠

D 平成20年度剤型別薬品購入額

剤 型	品 目 数	%	購 入 額	%
注 射	68 品	10.2 %	5,800,258 円	1.61 %
内 服	542	80.7	353,338,039	98.06
外 用	55	8.2	1,133,918	0.31
消 毒 液	6	0.9	81,291	0.02
計	671	100.0	360,353,506	100.00

E 平成20年度薬効別薬品購入額

薬 効	品 目 数	%	購 入 額	%
精 神 神 経 用 剤	206 品	30.7 %	279,504,151 円	77.6 %
抗 て ん かん 剤	29	4.3	10,964,850	3.0
抗 パ ー キ ン ソ ン 剤	20	3.0	8,196,845	2.3
睡 眠 鎮 静 剤 ・ 抗 不 安 剤	63	9.4	19,813,795	5.5
循 環 器 官 用 薬	56	8.3	5,303,236	1.5
消 化 器 官 用 薬	59	8.8	10,782,663	3.0
そ の 他 の 薬 剤	238	35.5	25,786,966	7.2
計	671	100.0	360,353,506	100.0

## (7) 医療教育

### ア 臨床研修医受入状況

管理型病院名 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
足柄上病院				1	2	1	1				1	1
厚木市立厚木病院		1	1	1	1	1						
国際親善総合病院							1	1	1	1	1	1
汐見台病院				1	1	1	1					

平成20年度は臨床研修協力型病院として次のとおりに臨床研修医を受け入れた。(単位：人)

### イ 講師派遣

派遣先	実施月
北里大学	平成20年6月
横浜創英短期大学	平成20年10月
横浜労災病院	平成21年1月

### ウ 研修受入れ

対象	人数	実施日
横浜市立大学医学部学生	4～5人	毎週火曜日 (見学実習)

## (8) 栄養管理科業務

栄養管理科の業務は、患者一人ひとりにあった栄養管理を行い、安全・安心な、より良い治療環境に寄与し、自立支援へとつながることを目的としている。入院患者栄養管理計画を18年度より実施しているが、本年度は継続記録用紙（患者モニタリング用紙）を新たに作成し、入院期間中（平均在院日数143日）の継続記録ができるようにした。

NSTは、「病棟栄養カンファレンス」という名称で、病棟毎に栄養管理上の課題をもつ患者の継続検討を個別に実施し、問題解決を図っている。また、毎月、栄養管理検討部会を開催しNST結果をさらに検討し、病棟にフィードバックしている。その結果、補助食品の整備・情報提供、食材料選択や切り方までも含めた献立の見直し、形態別対応などを行っている。

### ア 給食実施状況

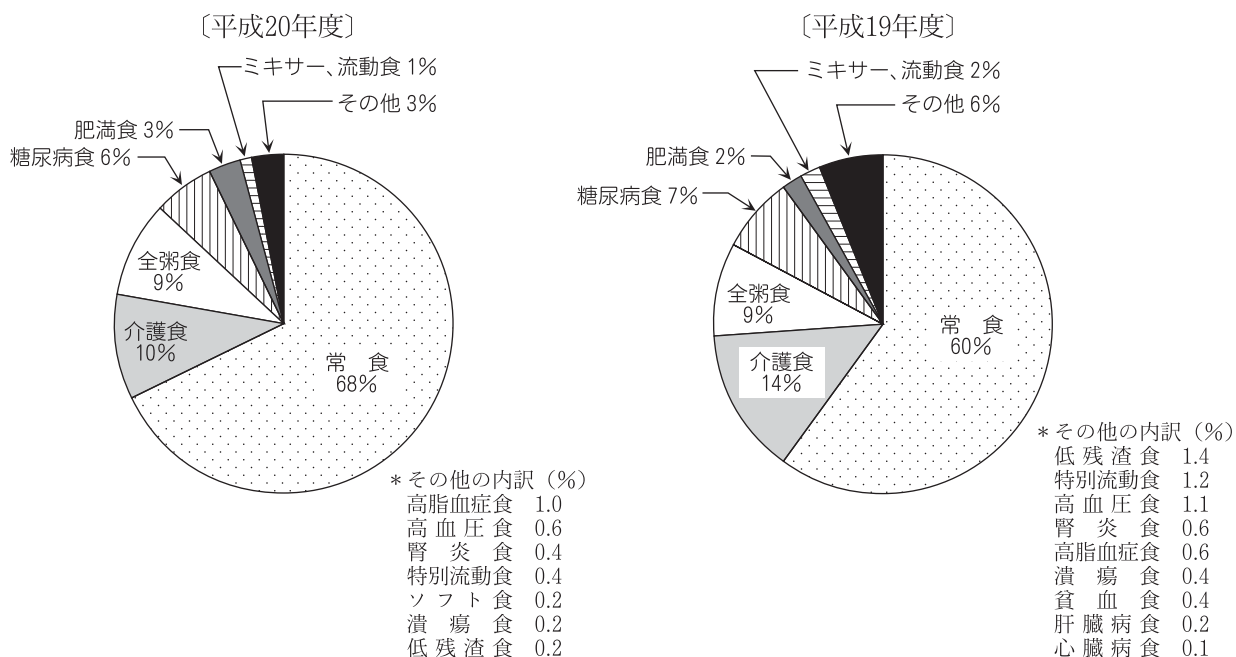
平成20年度はストレスケア病棟（A2病棟）が開棟したが、2病棟閉鎖されているため、入院患者数が減少し給食数も比例して対前年度比92.1%（一日平均823食）であった。デイ・ケア科（外来）の増減は無い。

食種構成比率は、一般食では常食が増加し、介護食・ミキサー食・流動食が減少している。特別食では、糖尿病食が微減し肥満食が微増であった。その他の内訳にも変化があり、高脂血症食が増加している。常食の増加要因は、急性期救急の利用が高い事と、ストレスケア病棟の開棟があげられる。また、特別食内容の変化は、ストレスケア病棟の高脂血症および肥満症によるものである。

形態別では「一口大」「小さい一口大」が毎食平均16食以上あり、すべての食種に形態変化を求められている。これは、嚥下・咀嚼の対策だけでなく、精神科特有の「口に詰め込む」対策でもありNST活動の結果でもある。

区 分		年 度	20年度	19年度	対前年度比 (%)
一 般 食	常 食		176,936	170,738	103.6
	軟 流 動 食	全 粥 食	23,204	24,146	96.1
		介 護 食	26,645	40,788	65.3
		ミ キ サ ー 食	3,397	5,119	66.4
		流 動 食	272	923	29.5
		小 計	53,518	70,976	75.4
	計	230,454	241,714	95.3	
特 別 食	加 算 で き る も の	腎 炎 食	1,277	1,551	82.3
		心 臓 病 食	207	350	59.1
		肝 臓 病 食	10	557	1.8
		糖 尿 病 食	15,471	21,162	73.1
		瘵 臓 病 食	0	0	—
		ネ フ ロ ー ゼ 食	0	0	—
		潰 瘍 食	674	1,074	62.8
		貧 血 食	9	1,032	0.9
		高 脂 血 症 食	2,424	1,459	166.1
	肥 満 食	2,811	1,669	168.4	
	通 風 食	0	18	—	
		小 計	22,883	28,872	79.3
	加 算 で き な い も の	肥 満 食	3,637	5,261	69.1
		高 血 圧 食	1,688	2,692	62.7
		貧 血 食	0	0	—
		特 別 流 動 食	1,044	3,046	34.3
		高 脂 血 症 食	184	0	—
		低 残 渣 食	534	3,923	13.6
ソ フ ト 食		708	108	—	
		小 計	7,795	15,030	51.9
		計	30,678	43,902	69.9
合 計			261,132	285,616	91.4
院 外 作 業 食 ・ 病 棟 レ ク 食			(319)	(531)	60.1
デ イ ・ ケ ア 科 食			8,744	8,806	99.3
検 食 ・ 保 存 食			2,190	2,196	99.7
職 員 食 ( 実 習 生 )			28,565 (641)	29,790 (439)	95.9 (146.0)
総 合 計			300,631	326,408	92.1

\* 院外作業食、病棟レク食（ ）は再掲 \* 職員食（ ）は実習生で内数



## イ 個人栄養管理計画書作成状況

病棟	A2	A3	B1	B2	B3	C2	C3	計
新規作成件数	90	125	744	452	116	86	70	1,683
BMI評価リスク対象	38%	28%	12%	7%	47%	12%	30%	25%
カンファレンス経過観察対象件数	14	7	3	43	58	11	48	184

\*BMI評価リスク対象とは、「18.5以下または25以上」を占める割合であって栄養改善対象者数とは異なる。

## ウ 栄養指導

本年度は、作業療法科との共催である「就職前栄養講座」は対象者「0」のため開催できず集団指導が減少した。これは、入院患者の重症化によるものであり、今後の自立支援方法の課題となった。入院の個別指導の増加は、高脂血症（ストレスケア病棟）と肥満症（慢性期病棟）である。ストレスケア病棟の栄養指導は、入院治療の一助として「教育指導」と捕えプログラムを作成実施している。

区分 年度	入 院				外 来				合 計			
	集団指導		個別指導		集団指導		個別指導		集団指導		個別指導	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
20	11	55	14	24	1	33	8	13	12	88	22	37
19	22	205	10	15	3	109	20	30	25	314	30	45
対前年度比(%)	50.0	26.8	140.0	160.0	33.3	30.3	40.0	43.3	48.0	28.0	73.3	82.2

## エ その他

- 地域連携：退院後の生活場となるグループホーム等の職員と食生活情報の交換を実施している。
- 栄養健康情報の発行：病棟配布献立表に栄養健康情報を掲載し、病棟および外来患者待合室に掲示している。
- 実習生の受け入れ：栄養士養成施設の学生実習を受け入れ、栄養士養成カリキュラムに則り2週間の実習を行っている。

## (9) 保育業務

平成19年度は、精神医療センター及び県立こども医療センター、ひばりが丘学園に勤務する看護師、准看護師及び保育士の幼児も対象とするとともに、保育時間も7時30分から20時までとしている。また、毎週土曜日と月1回日曜保育(第3を基本)も実施している。

### ア 保育の状況

年 齢	男	女	計	保 護 者 の 所 属		
6 歳	4	3	7	精神医療センター 2	こども医療センター 3	ひばりが丘学園 2
5 歳	2	2	4	精神医療センター 1	こども医療センター 3	
4 歳	2	2	4	精神医療センター 1	こども医療センター 3	
3 歳	2	5	7	精神医療センター 2	こども医療センター 5	
2 歳	5	4	9	精神医療センター 3	こども医療センター 6	
1 歳	0	2	2	精神医療センター 1	こども医療センター 1	
計	15	18	33	精神医療センター 10	こども医療センター 21	ひばりが丘学園 2

### イ 主な行事

月	内 容
4	進級式、クラス懇談会、お楽しみクッキング
5	遠足、病院の作品展参加、芋苗植え
6	歯科指導、ぎょう虫検査、お楽しみクッキング、春の健康診断
7	プール開き、夕涼み会、終園式
9	始園式、お楽しみクッキング
10	合同運動会、秋の遠足、おやつづくり
11	おやつづくり、秋の健康診断、焼き芋
12	クリスマスお楽しみ会、終園式、なかよし発表会
1	始園式、個人面談、もちつき大会
2	豆まき、お楽しみクッキング、おやつづくり
3	年長保育参観、お別れ遠足、園外保育、卒園式、終園式

### Ⅲ せりがや病院事務事業の状況

# 1 せりがや病院基本方針

- 1 依存症の専門病院として、最新の知識を生かし、質の高い医療を提供するとともに、啓発活動に努めます。
- 2 患者様の人権に配慮し、インフォームド・コンセントを重視します。
- 3 職員間の連携を図り、チーム医療に努めます。
- 4 ご家族や関連諸機関と連携し、患者様の社会復帰を目指します。
- 5 県立病院として健全な経営に努力します。

## 2 経理の状況

### (1) 病院事業会計決算状況

#### ア 収益的収入及び支出

平成20年度の収益的収入及び支出は、前年度に比較し、収益で5.8%の増、費用で3.8%の増となっている。

科 目	平成20年度		平成19年度		対前年度比 (%)	備 考
	金額 (千円)	収益比 (%)	金額 (千円)	収益比 (%)		
病院事業収益	936,878	100.0	885,851	100.0	105.8	
医業収益	432,233	46.1	426,787	48.2	101.2	
入院収益	305,080	32.6	295,872	33.4	103.1	
外来収益	124,150	13.2	127,946	14.4	97.0	
その他	3,003	0.3	2,969	0.3	101.1	
医業外収益	504,645	53.9	459,064	51.8	109.9	
受取り利息及び配当	626	0.1	533	0.1	117.4	
補助金	0	—	0	—	—	
他会計負担金	500,105	53.4	453,880	51.2	110.2	
患者外給食収益	3,672	0.4	4,108	0.5	89.4	
その他医業外収益	242	0.0	543	0.1	44.6	
特別収益	0	—	0	—	—	
その他特別収益	0	—	0	—	—	
病院事業費用	964,475	100.0	928,798	100.0	103.8	
医業費用	908,479	94.2	873,250	94.0	104.0	
給与費	666,957	69.1	639,570	68.9	104.3	
材料費	83,598	8.7	81,987	8.8	102.0	
経費	127,425	13.2	121,729	13.1	104.7	
統括管理費	708	0.1	709	0.1	99.9	
減価償却費	28,498	3.0	28,212	3.0	101.0	
資産減耗費	232	0.0	2	0.0	11,600.0	
研究修費	1,061	0.1	1,041	0.1	101.9	
医業外費用	55,996	5.8	55,494	6.0	100.9	
支払利息及び病院債取扱諸費	40,760	4.2	42,882	4.6	95.1	
患者外給食材料費	3,799	0.4	4,088	0.4	92.9	
繰延勘定償却費	98	0.0	87	—	112.6	
雑損失	11,339	1.2	8,437	0.9	134.4	
特別損失	0	—	54	0.0	皆減	
損益	▲ 27,597	—	▲ 42,947	—	—	

#### イ 資本的支出

平成19年度の資本的支出は、前年度に比較し、0.2%と増加している。主なものとして、資産購入の備品購入費として、4,987千円となっている。

科 目	平成20年度 (千円)	平成19年度 (千円)	対前年度比 (%)	備 考
建設改良費	623,284	38,447	1,621.2	
病院建築費	0	338	皆減	
工事請負費	0	338	皆減	
資産購入費	3,051	4,987	61.2	
備品購入費	3,051	4,987	61.2	
その他資産購入費	0	0	—	
総係費	0	0	—	
病院債償還金	620,233	33,122	1,872.6	



### 3 業務実績

#### (1) 各種指標

項目	計算方式	単位	平成20年度	平成19年度	対前年度比(%)	備考
病床数		床	80	80	100.0	
取扱患者数		人	33,931	33,946	100.0	
入院患者		人	20,650	19,966	103.4	
外来患者		人	13,281	13,980	95.0	
1日平均取扱患者数		人	102.1	102.2	99.9	
入院患者	取扱入院患者数/年間日数 365日	人	56.6	54.6	103.7	19年度 366日 20年度 365日
外来患者	取扱外来患者数/年間外来診療日数	人	45.5	47.6	95.6	19年度 294日 20年度 292日
病床利用率	取扱入院患者数/延病床数×100	%	70.7	68.2	103.7	
平均在院日数	入院延患者数/(入院患者数+退院患者数)×0.5	日	64.1	57.6	111.3	
入院外来患者比率	取扱外来患者数/取扱入院患者数×100-100	%	64.3	70.0	91.9	
医師・看護師1人当たりの取扱患者数						
医師	取扱患者数/医師延人数	人	23.2	31.0	74.8	
看護師	取扱患者数/看護師延人数	人	2.4	2.4	100.0	
職員数		人	57	54	103.6	期末人数
医師		人	4	3	133.3	期末人数
看護師		人	38	38	100.0	期末人数
その他職員		人	15	13	115.4	期末人数
病床100床当たりの職員数	全職員数/病床数×100	人	71.2	67.5	105.5	
医師	職員数/病床数×100	人	5.0	3.8	131.6	
看護師	職員数/病床数×100	人	47.5	47.5	100.0	
その他職員	職員数/病床数×100	人	18.8	16.3	115.3	
患者1人当たりの収益	医業収益/取扱患者数	円	12,671	12,573	100.8	
入院患者	入院収益/取扱患者数	円	14,774	14,819	99.7	
外来患者	外来収益/取扱患者数	円	9,350	9,152	102.2	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医師	医業収益/医師延人数	円	296,051	388,695	76.2	
看護師	医業収益/看護師延人数	円	31,163	30,686	101.6	
患者1人1日当たりの費用	医業費用/取扱患者数	円	26,774	25,725	104.1	
患者1人当たりの薬品費	薬品費/取扱患者数	円	1,855	1,802	102.9	
患者1人当たりの給食材料費	給食材料費/取扱入院患者数	円	841	852	98.7	
医業収益に対する費用比率	医業費用/医業収益×100	%	210.2	204.6	102.7	
給与費	給与費/医業収益×100	%	154.3	149.9	102.9	
材料費	材料費/医業収益×100	%	19.3	19.2	100.5	
経費	経費/医業収益×100	%	29.5	28.5	103.5	

(注) 医師、看護師の延人数は、期末の在籍人数に366日(平成19年度)、365日(平成20年度)を乗じ算出した

## 4 患者の状況

### (1) 外来患者の状況

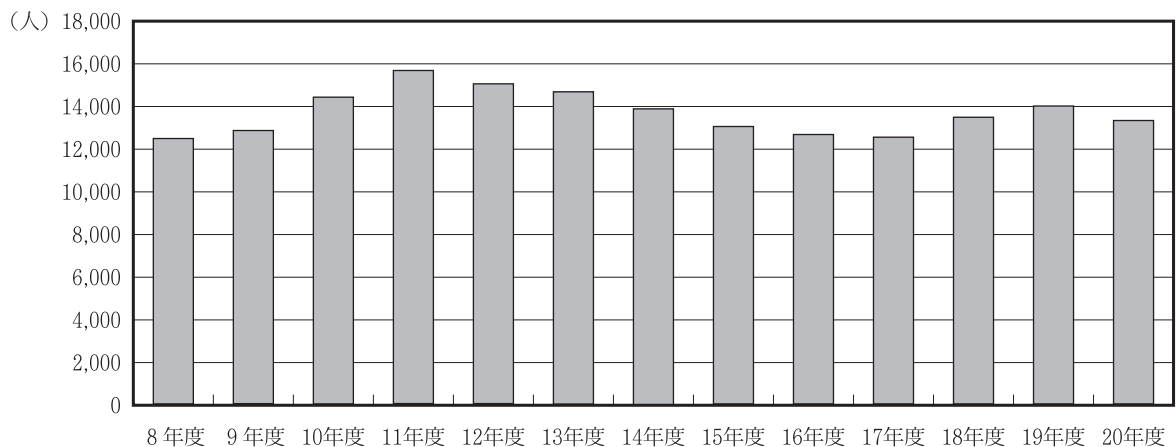
延患者数は699人の減で対前年度比5.0%の減となっている。そのうち、再来は、633人の減で対前年度比4.8%の減、新患は66人の減で対前年度比8.0%減となっている。新外来患者において、依存薬物別ではアルコールが62.5%で最も大きな割合を占め、年齢別では40～49歳の構成比が29.3%と最も多くなっている。また、外来患者の受診経路は医療機関からの経路が最も多く、全体の38.8%を占めている。

#### ア 月別外来患者数

年度	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		20	新 患	59	62	78	70	63	52	73	59	49	54	
再 来	1,111		1,054	1,028	1,148	1,028	1,032	1,080	962	1,023	960	990	1,109	12,525
延患者数	1,170		1,116	1,106	1,218	1,091	1,084	1,153	1,021	1,072	1,014	1,062	1,174	13,281
一日平均	46.8		46.5	44.2	46.8	42.0	45.2	44.3	44.4	48.7	44.1	46.2	47.0	45.5
19	新 患	66	74	66	67	72	61	78	67	59	70	77	65	822
	再 来	1,023	1,157	1,081	1,141	1,160	1,012	1,148	1,080	1,087	1,051	1,098	1,120	13,158
	延患者数	1,089	1,231	1,147	1,208	1,232	1,073	1,226	1,147	1,146	1,121	1,175	1,185	13,980
	一日平均	45.4	51.3	44.1	48.3	45.6	46.7	47.2	47.8	49.8	48.7	49.0	47.4	47.6

(注) 精神科のほか、内科受診者を含む

#### イ 外来患者数の年次推移状況



#### ウ 依存薬物別新外来患者数

年度	依存薬物等 区分 (F1)	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その 他 薬 物	その 他 精神障害	計
		20	男	344	8	96	3	14	
女	114		3	36	0	1	33	15	202
計	458		11	132	3	15	79	35	733
構 成 比	62.5		1.5	18.0	0.4	2.0	10.8	4.8	100.0
19	男	363	14	128	2	8	51	21	587
	女	101	7	38	0	0	36	25	207
	計	464	21	166	2	8	87	46	794
	構 成 比	58.5	2.6	20.9	0.2	1.0	11.0	5.8	100.0

(注) 新外来患者とは、精神科初診患者と6ヵ月以上通院していない再初診患者のこと

エ 年齢別新外来患者数

年度	年齢 区分	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
		20	男	3	55	102	164	95	
	女	5	28	76	51	26	9	7	202
	計	8	83	178	215	121	84	44	733
	構成比	1.1	11.3	24.3	29.3	16.5	11.5	6.0	100.0
19	男	9	61	140	131	126	84	36	587
	女	7	43	65	46	30	13	3	207
	計	16	104	205	177	156	97	39	794
	構成比	2.0	13.1	25.8	22.3	19.7	12.2	4.9	100.0

オ 地域別実外来患者数

居住地域	年度	20	19	居住地域	年度	20	19	居住地域	年度	20	19
		横 浜 市	1,106			1,126	横 須 賀 市			39	49
鶴 見 区	55	52	平 塚 市	31	29	中 井 町	0	0			
神 奈 川 区	52	55	鎌 倉 市	24	24	大 井 町	3	1			
西 区	34	31	藤 沢 市	59	59	松 田 町	2	2			
中 区	107	100	小 田 原 市	20	19	山 北 町	1	1			
南 区	163	167	茅 ヶ 崎 市	38	42	開 成 町	0	0			
港 南 区	113	115	逗 子 市	10	7	足 柄 下 郡	2	2			
保 土 ヶ 谷 区	70	75	相 模 原 市	32	33	箱 根 町	1	1			
旭 区	76	68	三 浦 市	2	3	真 鶴 町	0	0			
磯 子 区	53	62	秦 野 市	13	6	湯 河 原 町	1	1			
金 沢 区	44	40	厚 木 市	13	13	県 内 計	1,630	1,647			
港 北 区	54	54	大 和 市	26	25	東 京 都	65	70			
緑 区	31	36	伊 勢 原 市	9	7	埼 玉 県	3	3			
戸 塚 区	111	121	海 老 名 市	12	15	千 葉 県	8	8			
瀬 谷 区	30	31	座 間 市	11	9	群 馬 県	0	0			
栄 区	32	28	南 足 柄 市	1	1	栃 木 県	2	3			
泉 区	45	48	綾 瀬 市	4	11	山 梨 県	2	0			
青 葉 区	17	28	三 浦 郡 葉 山 町	2	2	静 岡 県	5	6			
都 筑 区	19	15	高 座 郡 寒 川 町	8	4	茨 城 県	1	0			
川 崎 市	157	150	愛 甲 郡	1	2	そ の 他 の 県	11	14			
川 崎 区	45	50	愛 川 町	1	2	県 外 計	97	104			
幸 区	21	18	清 川 村	0	0	住 所 不 明	0	0			
中 原 区	17	19	中 郡	4	5	計	1,727	1,751			
高 津 区	31	27	大 磯 町	3	1						
宮 前 区	17	9	二 宮 町	1	4						
多 摩 区	20	22									
麻 生 区	6	5									

(注1) 新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

カ 新外来患者の受診経路

年度	依存薬物等 (F1) 受診経路	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	そ の 他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
20	退院者、通院歴あり	120	7	51	1	4	21	5	209	28.5
	医 療 機 関 (精 神 科)	103		29		5	24	6	167	22.8
	医 療 機 関 (その他診療科)	97		3		2	14	1	117	16.0
	保 健 所	21		7		2	1	1	32	4.4
	福 祉 事 務 所	24		10			3	1	38	5.2
	断 酒 会 A - A	11	1	3			3		18	2.5
	職 場 関 係 者	5						17	22	3.0
	友 人 ・ 知 人	27		12	1	2	2	1	45	6.1
	警 察	1		3			1		5	0.6
	そ の 他	49	3	14	1		10	3	80	10.9
	計	458	11	132	3	15	79	35	733	100.0
19	退院者、通院歴あり	113	9	73		1	19	10	225	28.4
	医 療 機 関 (精 神 科)	150	5	24	1	2	30	5	217	27.4
	医 療 機 関 (その他診療科)	69	1	3			4	2	79	9.9
	保 健 所	30	1	8		4	3	1	47	5.9
	福 祉 事 務 所	18	1	3			4	5	31	3.9
	断 酒 会 A - A	8		6		1	1	1	17	2.1
	職 場 関 係 者	7		1				15	23	2.9
	友 人 ・ 知 人	25	2	12			8	4	51	6.4
	警 察	3		10					13	1.6
	そ の 他	41	2	26	1		18	3	91	11.5
	計	464	21	166	2	8	87	46	794	100.0

## (2) 入退院患者の状況

延患者数は対前年度比3.4%、684人増加している。病床利用率は、対前年度比2.5ポイント増となった。

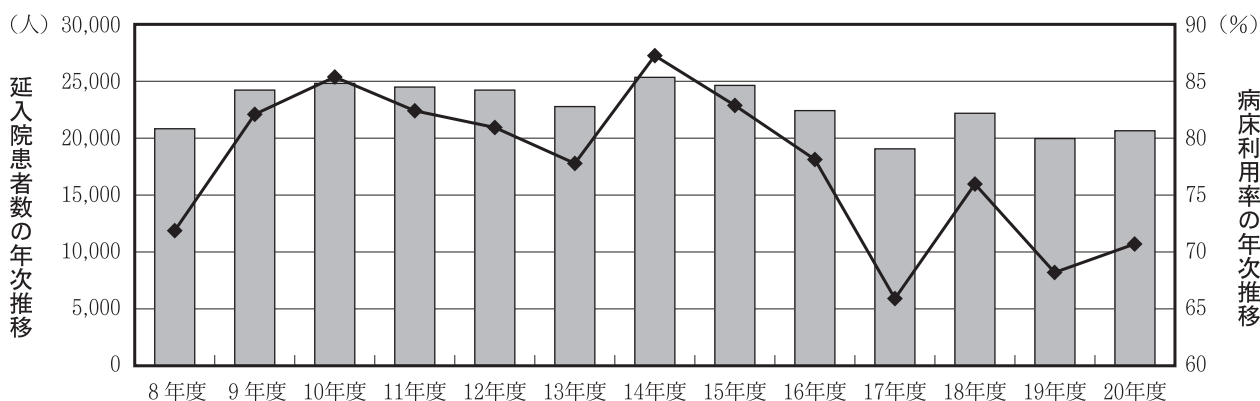
新入院患者は、対前年度比9.7%、34人減少している。新入院患者の病類別の構成比はアルコール依存症の割合が最も多く78.6%を占め、次いで覚せい剤中毒の9.5%となっている。入院形態は任意入院が全体の95.0%を占めている。退院患者の転帰は軽快の割合が多く、61.4%を占めている。

### ア 月別入退院患者数

年度	月 区分	月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
20	入院	20	29	23	34	25	34	26	24	24	20	31	28	318
	退院	22	24	27	34	32	32	28	23	24	20	31	29	326
	延患者数	1,717	1,911	1,927	1,973	1,726	1,561	1,655	1,600	1,716	1,633	1,537	1,694	20,650
	病床利用率	71.5	77.1	80.3	79.6	69.6	65.0	66.7	66.7	69.2	65.8	68.6	68.8	70.7
19	入院	29	27	37	24	32	26	27	29	32	34	25	30	352
	退院	25	28	35	26	34	23	28	28	30	26	33	25	341
	延患者数	1,517	1,559	1,691	1,795	1,554	1,463	1,596	1,592	1,798	1,786	1,739	1,876	19,966
	病床利用率	63.2	62.9	70.5	72.4	62.7	61.0	64.4	66.3	72.5	72.0	75.0	75.6	68.2

(注) 月別に新たに入院した数

### イ 延入院患者数及病床利用率の年次推移状況



### ウ 依存薬物別入院患者数

年度	依存薬物等 (F1) 区分	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻薬	大麻	その他 薬物	その他 精神障害	計
20	男	197	3	21		9	13	2	245
	女	53	1	9			10		73
	計	250	4	30		9	23	2	318
	構成比	78.6	1.3	9.5		2.8	7.2	0.6	100.0
19	男	218	3	26	1	1	23	1	273
	女	51	1	8			19		79
	計	269	4	34	1	1	42	1	352
	構成比	76.4	1.1	9.7	0.3	0.3	11.9	0.3	100.0

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数

エ 依存薬物別・年齢別入院患者数

年度	年齢	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	そ の 他 物	そ の 他 精神障害	計	年 齢 比	
		区分	区分										
20	19歳以下	男							1		1	0.9	
		女		1	1						2		
		小 計		1	1				1		3		
	20～29歳	男	2		2			5		2		11	6.6
		女	5		3				2		10		
		小 計	7		5			5	4		21		
	30～39歳	男	14		8			4		4	1	31	17.9
		女	18		4				4		26		
		小 計	32		12			4	8	1	57		
	40～49歳	男	52	2	9					2	1	66	25.2
		女	13		1							14	
		小 計	65	2	10				2	1	80		
	50～59歳	男	59	1	2					3		65	24.5
		女	10						3		13		
		小 計	69	1	2				6		78		
	60～69歳	男	46							1		47	16.4
		女	4							1		5	
		小 計	50						2		52		
	70歳以上	男	24									24	8.5
		女	3									3	
小 計		27									27		
計	男	197	3	22			9		13	2	246	100.0	
	女	53	1	8					10		72		
	計	250	4	30			9		23	2	318		
	構成比	78.6	1.3	9.5			2.8		7.2	0.6	100.0		
19	19歳以下	男				1					1	0.3	
		女											
		小 計			1						1		
	20～29歳	男	10		2			1		6		19	8.5
		女	6		2				3		11		
		小 計	16		4			1	9		30		
	30～39歳	男	17	1	14		1			11	1	45	20.5
		女	9	1	4				13		27		
		小 計	26	2	18		1		24	1	72		
	40～49歳	男	48		6					5		59	23.3
		女	19		1				3		23		
		小 計	67		7				8		82		
	50～59歳	男	74	1	3							78	24.4
		女	7		1						8		
		小 計	81	1	4						86		
	60～69歳	男	46		1					1		48	15.9
		女	8								8		
		小 計	54		1				1		56		
	70歳以上	男	23									23	7.1
		女	2									2	
小 計		25									25		
計	男	218	2	27		1	1		23	1	273	100.0	
	女	51	1	8				19		79			
	計	269	3	35		1	1	42	1	352			
	構成比	76.4	1.1	9.7		0.3	0.3	11.9	0.3	100.0			

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数

オ 地域別実入院患者数

居住地域	年度		居住地域	年度		居住地域	年度			
	20	19		20	19		20	19		
横 浜 市	222	240	横 須 賀 市	7	7	足 柄 上 郡	2	0		
	鶴 見 区	17	12	平 塚 市	5		7	中 井 町	0	0
	神 奈 川 区	12	16	鎌 倉 市	8		2	大 井 町	1	0
	西 区	11	11	藤 沢 市	16		8	松 田 町	1	0
	中 区	25	33	小 田 原 市	7		6	山 北 町	0	0
	南 区	31	33	茅 ヶ 崎 市	7	10	開 成 町	0	0	
	港 南 区	24	21	逗 子 市	1	2	足 柄 下 郡	0	0	
	保 土 ヶ 谷 区	8	12	相 模 原 市	9	3	箱 根 町	0	0	
	旭 区	15	13	三 浦 市	0	0	真 鶴 町	0	0	
	磯 子 区	10	9	秦 野 市	3	1	湯 河 原 町	0	0	
	金 沢 区	6	7	厚 木 市	0	2	県 内 計	346	354	
	港 北 区	11	17	大 和 市	5	5	東 京 都	24	32	
	緑 区	7	5	伊 勢 原 市	1	1	埼 玉 県	0	2	
	戸 塚 区	16	18	海 老 名 市	1	3	千 葉 県	0	3	
	瀬 谷 区	4	7	座 間 市	1	2	茨 城 県	0	2	
	栄 区	5	4	南 足 柄 市	0	1	群 馬 県	0	0	
	泉 区	10	9	綾 瀬 市	3	3	栃 木 県	1	1	
	青 葉 区	8	8	三 浦 郡 葉 山 町	1	0	静 岡 県	1	2	
	都 筑 区	2	5	高 座 郡 寒 川 町	3	1	そ の 他 の 県	6	5	
川 崎 市	42	47	愛 甲 郡	0	0	県 外 計	32	47		
	川 崎 区	11	13	愛 川 町	0	0	住 所 不 明	0	0	
	幸 区	6	6	清 川 村	0	0	計	378	401	
	中 原 区	4	6	中 郡	2	3				
	高 津 区	6	7	大 磯 町	1	1				
	宮 前 区	3	6	二 宮 町	1	2				
	多 摩 区	9	6							
麻 生 区	3	3								

カ 入院費負担区分別患者数（平成21年3月末現在在院患者一覧表）

年度	負担区分	健康保険法		国民健康 保険法	生活保護法	精神保健 福祉法	麻薬取締法	自 費	計
		本 人	家 族						
20	男	7	1	15	19				42
	女	1	3	4	2				10
	計	8	4	19	21				52
	構 成 比	15.4	7.7	36.5	40.4				100.0
19	男	12	3	19	14				48
	女		2	6	4				12
	計	12	5	25	18				60
	構 成 比	20.0	8.3	41.7	30.0				100.0

キ 入院形態別患者数

年度	形態	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
20	任意	男	14	24	15	27	20	23	20	15	22	11	23	19	233
		女	4	5	7	7	4	9	5	7	2	8	5	6	69
		小計	18	29	22	34	24	32	25	22	24	19	28	25	302
		構成比	90.0	100.0	95.7	100.0	96.0	94.1	96.2	91.7	100.0	95.0	90.3	89.3	95.0
	医療保護	男	2		1		1	2	1	2		1	2	1	13
		女											1	2	3
		小計	2		1		1	2	1	2		1	3	3	16
		構成比	10.0		4.3		4.0	5.9	3.8	8.3		5.0	9.7	10.7	5.0
	措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
計	男	16	24	16	27	21	25	21	17	22	12	25	20	246	
	女	4	5	7	7	4	9	5	7	2	8	6	8	72	
	小計	20	29	23	34	25	34	26	24	24	20	31	28	318	
19	任意	男	17	18	27	18	20	17	21	23	26	24	13	23	247
		女	8	7	6	4	10	5	5	3	4	9	10	5	76
		小計	25	25	33	22	30	22	26	26	30	33	23	28	323
		構成比	86.2	92.6	89.2	91.7	93.7	84.6	96.3	89.7	93.7	97.1	92.0	93.3	91.8
	医療保護	男	4	2	3	2	2	4		2	1	1	2	2	25
		女			1				1		1				3
		小計	4	2	4	2	2	4	1	2	2	1	2	2	28
		構成比	13.8	7.4	10.8	8.3	6.3	15.4	3.7	6.9	6.3	2.9	8.0	6.7	7.9
	措置	男									1				1
		女													
		小計									1				1
		構成比									3.4				0.3
計	男	21	20	30	20	22	21	21	26	27	25	15	25	273	
	女	8	7	7	4	10	5	6	3	5	9	10	5	79	
	小計	29	27	37	24	32	26	27	29	32	34	25	30	352	

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数



ク 依存薬物別・在院期間別退院患者数

年度	期間	依存薬物等 (F1) 区分	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	その 他 薬 物	その 他 精神障害	計
20	9日以下	男	20		1			3	1	25
		女	5	1	1			1		8
		小 計	25	1	2			4	1	33
	10～19日	男	20		4		1	1	2	28
		女	3							3
		小 計	23		4		1	1	2	31
	20～29日	男	7		4			1		12
		女	2		3			3		8
		小 計	9		7			4		20
	30～59日	男	35	2	14		6	6		63
		女	9		5			3		17
		小 計	44	2	19		6	9		80
	60～89日	男	38		2				1	41
		女	10		1			2		13
		小 計	48		3			2	1	54
	90日以上	男	86					1		87
女		20					1		21	
小 計		106					2		108	
計	男	206	2	25		7	12	4	256	
	女	49	1	10			10		70	
	小 計	255	3	35		7	22	4	326	
	構成比	78.2	0.9	10.7		2.2	6.8	1.2	100.0	
19	9日以下	男	19	1	9	1	1	2	1	34
		女	3		2			5		10
		小 計	22	1	11	1	1	7	1	44
	10～19日	男	16	1	3			5		25
		女	5		2			2		9
		小 計	21	1	5			7		34
	20～29日	男	13	1	7			3		24
		女	3					3		6
		小 計	16	1	7			6		30
	30～59日	男	32		8			9		49
		女	13	1	3			9		26
		小 計	45	1	11			18		75
	60～89日	男	48					2		50
		女	12					1		13
		小 計	60					3		63
	90日以上	男	81						1	82
女		13							13	
小 計		94						1	95	
計	男	209	3	27	1	1	21	2	264	
	女	49	1	7			20		77	
	小 計	258	4	34	1	1	41	2	341	
	構成比	75.6	1.2	10.0	0.3	0.3	12.0	0.6	100.0	

ケ 依存薬物別・転帰別退院患者数

年度	転帰	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	麻 薬	大 麻	そ の 他 薬	そ の 他 精神障害	計	構成比
		区分										
20	全 快	男										0.0
		女										
		小 計										
	軽 快	男		119	2	17		5	8	4	155	61.4
		女		29		7			9		45	
		小 計		148	2	24		5	17	4	200	
	未 治	男		62		5		2	4		73	29.1
		女		17	1	3			1		22	
		小 計		79	1	8		2	5		95	
	転 医	男		25		3					28	9.5
		女		3							3	
		小 計		28							31	
	死 亡	男										0.0
		女										
		小 計										
	計	男		206	2	25		7	12	4	256	100.0
女			49	1	10			10		70		
小 計			255	3	35		7	22	4	326		
構成比			78.2	0.9	10.7		2.1	6.7	1.2	100.0		
19	全 快	男										0.0
		女										
		小 計										
	軽 快	男		131	1	15			9	1	157	58.9
		女		26	1	4			13		44	
		小 計		157	2	19			22	1	201	
	未 治	男		58	2	9	1	1	11	1	83	32.8
		女		20		3			6		29	
		小 計		78	2	12	1	1	17	1	112	
	転 医	男		20		3			1		24	8.2
		女		3					1		4	
		小 計		23		3			2		28	
	死 亡	男										0.0
		女										
		小 計										
	計	男		209	3	27	1	1	21	2	264	100.0
		女		49	1	7			20		77	
		小 計		258	4	34	1	1	41	2	341	
		構成比		75.6	1.2	10.0	0.3	0.3	12.0	0.6	100.0	

## 5 業務の状況

### (1) 看護

看護局方針を「専門的な知識・技術に基づき、患者様の人権とQOLに配慮した質の高い看護を提供する。」として病棟看護、外来看護を行っている。

#### ア 病棟看護

看護局は外来看護科、1階病棟、2階病棟及び看護教育科の4看護単位からなっており、許可病床数は80床である。1階病棟は初期入院（30床）、2階病棟は男子の回復期（35床）及び女子の初期から回復期（15床）で構成され、治療プログラムに基づいて看護を遂行している。

看護職員は37人で、看護体制は3交替をとっている。

また、病棟では作業療法士とともに、バスハイクや親睦祭など様々な企画を行い、別に院外自助グループとの積極的な関わりの場を通じて、社会復帰のための支援活動を実施している。

#### ア) 病棟別看護職員配置図

(平成21年4月1日現在)

病棟	定床数	保護室	定数	現員	備考
1階	30	4	17	14+2	初期入院（男性）病棟
2階	50	2	17	16+1	回復期（男性）病棟、女性病棟

+は非常勤

#### (イ) 行事

内容	実施月	参加人数
大遠出	平成20年10月	37人
親睦祭	平成21年3月	44人

#### イ 外来看護

精神保健福祉法の施行及び患者様を取り巻く社会環境の変化などにより、入院中心の医療から外来通院治療への比重が高まってきている。このため、外来は短時間の関わりの中で患者様に必要な援助は何か、緊急を要する状態の把握、診察までの待ち時間での観察が必要である。病気と認めることのできない疾患を持つ患者様・ご家族の思いを受け止めながら、受診につながる関わり、断酒・断薬の動機づけ、通院継続の勧めなどの面で、患者様への窓口となっている。常に人権尊重を意識した熟練した対応が要求され、日々緊張と学習の積み重ねである。

職員配置

定数 2 + 2（非常勤） 現員 3 + 2（非常勤）

#### ウ 看護教育

看護職員の現任教育や看護学生の実習調整・指導、また他施設からの見学、小学生や中学生を対象とした啓発活動などの受入れや支援を行っている。

(ア) 平成20年度現任教育

	研修名	ね ら い	対 象	参加人数
ステップ I	採用者研修	・概要・組織・業務が理解でき、職員としての自覚をもつことができるの	採用・転入者	3名
	転入者研修	・業務の中で生じた疑問や不安を軽減し、仕事への意欲につなげることができる	採用・転入者	2名
	施設見学	・地域のネットワークが理解でき、連携の必要性と看護の役割がわかる	採用・転入者	3名
	基礎研修	・看護場面を通して、依存症看護における観察判断や具体的な援助方法がわかる	採用・転入者	2名
ステップ II	看護場面の再構成	・自己の看護実践を振り返ることで、自分が他者に与える影響について理解し、より適切な看護を提供することができる	看護科長が必要と認めた看護職員	1名
ステップ III	基礎研修 IV	・受け持ち患者の事例研究を通して、看護の専門性を追求することができる	同上	1名
ステップ IV	専門研修 I リーダーシップ研修	・リーダーシップを発揮し、セクションの課題をとらえ、業務改善に取り組むことができる	同上	2名
ステップ V	専門研修 II	・医療チームからだされた問題について討議することができる ・専門的能力やマネジメント能力を発揮して組織の目標達成に貢献することができる	同上	1名
新主任研修		・リーダーシップと主任の役割について理解できる。	新主任	2名
講演会・研修会等	講演会 I	・看護の質の向上につなげることができる ・専門性を高め、看護実践に活かすことができる I テーマ「依存症治療の9年間を振り返って」 遠藤診療科部長 II テーマ「アルコール依存症の認知行動対処技術療法の活用」 北里大学 澤山透先生	全職員	13名 他部門含
	講演会 II			41名 他部門・他施設含
	伝達研修・看護研究発表会	・院外研修の報告を受け、自己研鑽の動機づけとすることができる ・看護活動を通して研究成果を発表し相互の学びとすることができる ・依存症看護の質の向上につなげることができる	全看護職員	10名 10名 他部門含
	静脈注射研修	・医師の指示に基づいた静脈注射を安全に実施するための必要な知識・技術を習得する	全看護職員	3名
	看護講座	・看護に必要な知識・考え方を学ぶ ①「看護倫理」 ②「基礎看護教育の変遷」 ③「フォーカスチャータリングに基づいた看護記録」 ④「研究倫理」 ⑤「患者サービスとは」 ⑥「問題解決の方法」 ⑦「法律に基づいた看護とは」 ⑧「事例検討」	看護職員	
	病棟技能員研修	・患者の環境を整備するために、組織の中で効果的な役割を担い、サービスの向上を図る。	技能員	2名

(イ) 平成20年度実習受入れ状況

学 校 ・ 団 体	人 数
神奈川県衛生看護専門学校 第二看護学科	68人
神奈川県衛生看護専門学校 第一看護学科	23人
福岡看護専門学校（通信制）	3人
日本医療学院付属	1人

(ウ) 平成20年度看護の日記念行事

学 校 ・ 団 体	対 象 者	人 数
横浜市南区大岡地区センター	地域の方	40人

## (エ) 平成20年度施設見学

学 校 ・ 団 体	対 象 者	人 数
喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育 フェアラム実行委員の病院訪問	寒川高校、磯子工業高校の生徒8名	8人
中学生の職業体験	横浜市立芹が谷中学校	2人
夏期病院見学（インターンシップ）	就職希望者	3人

## (オ) 平成20年度講師派遣

派 遣 場 所	内 容	人 数
県立保健福祉大学 実践教育センター	管理者養成課程	1人
	教員養成課程 介護教員養成コース	
	実習指導者養成教育	
	研究基礎講座	1人
	教員養成課程	
	実習指導者養成教育	
社会保険横浜看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ	1人
県立衛生看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ	1人
県立病院職員研修	専門Ⅰコース	1人
	専門Ⅱコース	1人
	専門Ⅲコース	1人

## (カ) 平成20年度健康教育啓発活動の講師派遣

学 校 ・ 団 体	対 象 者	人 数
横浜市立中田中学校	3年生	180人
	教職員・保護者	15人
県立平塚農業高校発声分校	1年生、2年生、3年生、4年生	101人
	教職員	14人
横須賀市立池上中学校	1年生	40人
	教職員	2人
県立茅ヶ崎北陵高校	1年生	239人
	教職員	
横須賀市立池上中学校	2年生（クラス別2回）	80人
	教職員	
県立栗原高校	2年生	120人
	教職員	
横浜国立大学附属中学校	3年生	135人
	教職員	
鎌倉市立玉縄中学校	3年生	170人
	教職員	
鎌倉市立岩瀬中学校	3年生	120人
	教職員	

## (2) 心理・相談業務

心理・相談科では、依存症により生じた家族関係や就業、経済的問題など、社会的側面の問題をもつ患者・家族に対して相談支援や集団精神療法等の回復プログラムをおこなっている。

平成20年度はアルコール外来プログラムとして「ビギナーズミーティング」を新規に開始し、治療初期の患者への集団精神療法の充実を図った。また、薬物家族教室では、特別講座を4回実施し参加家族にも好評であった。

地域のアルコール、薬物依存症の自助グループや回復施設との連携では、平成20年度は15名の薬物依存症患者の施設入所を支援した。心理・相談科の業務内容は以下のとおりである。

1. 相談（電話、面接）
2. 初診時インテーク面接
3. 入院・外来患者へのケースワーク
4. 患者家族へのケースワーク
5. 入院・外来患者への集団精神療法
6. 入院患者への教育
7. 臨床心理検査
8. 心理療法
9. 薬物問題を持つ家族のための家族教室
10. 依存症者の家族のための家族教室（医局、看護局との分担）
11. 地域関連機関・施設や自助グループ等の団体との連絡、調整及び技術援助
12. 研修の受け入れ（精神保健福祉援助実習など）
13. 講師派遣（薬物乱用防止教室等）

### ア 相談・インテーク・ケースワーク等件数

内 容		20年度	19年度	備 考	
電 話	新 規 相 談	375	487	まだ受診していない者についての相談	
	相 談	578	806	すでに受診している者（患者）についての相談	
	関係機関との連絡調整	3,580	3,616	保健所、福祉事務所、医療機関、施設等との患者についての相談、連絡調整	
	小 計	4,533	4,909		
面 接	新規相談	59	55	まだ受診していない者についての相談	
	患 者	外 来	480	576	外来患者等に対する面接
		入 院	1,579	1,440	入院患者等に対する面接
	イ ン テ ー ク	473	503	初診患者に生活背景、病歴等を面接聴取する	
	小 計	2,591	2,574		
計		7,124	7,483		

### イ 平成20年度集団精神療法件数

外 来	ア ル コ ー ル	1,009	1,141	週1回の外来ミーティングで実施
	薬 物	302	305	月2回の薬物外来ミーティングで実施
	小 計	1,311	1,446	
入院	アルコール・薬物	4,120	4,332	7グループで実施 入院患者各々週2回参加
計		5,431	5,778	

### ウ 平成20年度家族教室参加人数

家 族 教 室	316	347	アルコール依存症の者の家族 月3回
薬 物 依 存 症 家 族 教 室	307	285	薬物問題を持つ家族 月2回
計	623	632	

## エ 平成20年度 研修等の受入れ

### (ア) 精神保健福祉援助実習

	学 校	実 施 日	人 数
1	県立保健福祉大学	平成20年 8月25日～9月 9日	2名
2	上智社会福祉専門学校	平成20年 8月25日～9月 9日	1名
3	上智大学	平成20年11月 7日	1名

### (イ) その他研修・見学

	機 関	実 施 日	人 数
1	県精神保健福祉センター（転任職員研修）	平成20年 6月18日	4名
2	県精神保健福祉センター（転任職員研修）	平成20年 6月20日	4名
3	神奈川県医療社会事業協会（MSW 新人研修）	平成20年11月 7日	5名
4	横浜保護観察所社会復帰調整官実務実習	平成20年11月19日	1名
5	保健福祉部専門職階層別研修	平成20年11月19日	1名
6	川越少年刑務所職員見学	平成21年 2月 4日	2名
7	福岡県保健医療介護部薬務課職員見学	平成21年 2月23日	2名
8	三重県こころの健康センター職員見学	平成21年 2月25日	1名
9	横浜市こころの健康相談センター	平成21年 3月 9日	7名

### (ウ) 講師派遣

	機 関	実 施 日	参 加 人 数
1	寿アルク・アルコール問題業務研究連絡会	平成20年10月21日	25名
2	横浜ダルク研修会（家族教室）	平成20年10月22日	32名
3	県精神保健ボランティア連絡協議会	平成21年 1月31日	33名
4	麻薬相談員・保護司等薬物研修会	平成21年 2月 5日	22名
5	鎌倉市立深沢中学校薬物乱用防止教室	平成21年 2月23日	140名

## (3) 医療教育及び講師派遣

### ア 研修の受入れ

対 象	人 数	実 施 日
横浜市立大学医学部学生	5～6人	火曜日（見学実習）

### イ 講師派遣

派 遣 先	実 施 日
横浜市立大学医学部	平成20年 4月
県立保健福祉大学	平成20年 4月、6月
県教育委員会	平成20年 4月

#### (4) 薬剤業務

平成20年度の薬品購入金額が前年度に比べ約133万円減であったが、診療行為給付実績の投薬・注射について一人単価は、前年度に比べ115円増であった。また、処方せん枚数は、前年度に比べ外来651枚の減、入院が277枚増で、入院と外来合わせて前年度より374枚減であった。これにより、処方せん枚数（患者数）の減少に比べ一人単価の収益が増加したので、単価の高い薬品が使用されたことが考えられる。

薬剤情報提供は前年度に比べ370件増え1,016件であった。

薬事会議は10月と3月に開催し、新たに9品目を採用し、10品目を削除した。後発医薬品については4品目を先発品から切り替え、計80品目となり採用率は13.6%となった。

##### A 調剤数

区 分	処 方 せ ん	剤 数	延 べ 剤 数	一 日 平 均	
				剤 数	延 べ 剤 数
入 院	7,379 枚	20,348 剤	119,680 剤	55.6 剤	327.0 剤
外 来	11,725	38,744	617,179	131.8	2,099.2
計	19,104	59,092	736,859	187.4	2,426.2

##### B 注射剤払い出し

注 射 せ ん	500 m l 未 満	500 m l 以 上	計
249 枚	533 本	208 本	741 本

##### C 製剤数

内 用 散 剤	軟 膏 剤	錠 剤 の 粉 砕
278,292 ㍶	1,382 ㍶	1,614 錠

##### D 剤型別購入額

剤 型	品 目 数	%	購 入 額	%
注 射	53 品	11.5 %	517,376 円	0.8 %
内 服	362	78.3	61,610,505	97.8
外 用	43	9.3	797,819	1.3
消 毒	4	0.9	27,468	0.1
計	462	100.0	62,953,168	100.0

##### E 薬効別購入額

薬 効	品 目 数	%	購 入 額	%
精 神 神 経 用 剤	128 品	27.7 %	25,824,526 円	41.0 %
睡眠鎮静剤、抗不安剤	50	10.8	11,244,612	17.9
習慣性中毒用剤	2	0.4	2,592,500	4.1
ビ タ ミ ン 剤	17	3.7	2,899,076	4.6
肝 臓 疾 患 用 剤	4	0.9	155,030	0.2
そ の 他	261	56.5	20,237,424	32.2
計	462	100.0	62,953,168	100.0

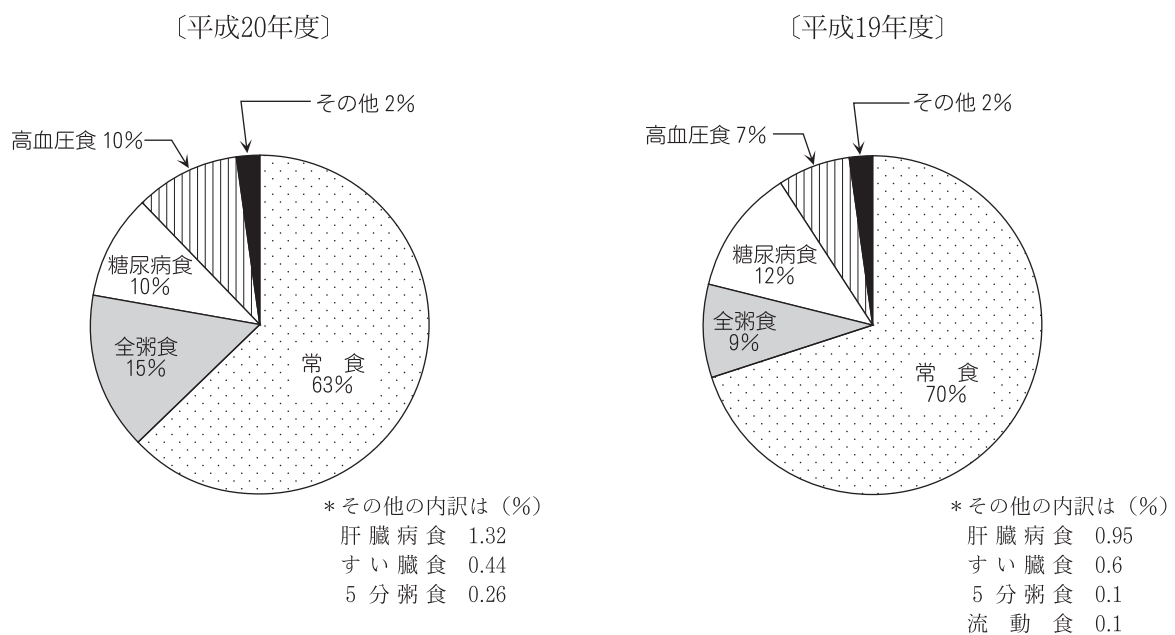


## (5) 栄養業務

### ア 給食実施状況

入院患者の食種では常食の比率が低下し、軟流動食が増加している。この理由として入院患者の高齢化の影響があげられる。特別食では糖尿病食と高血圧食の割合が高いが、これらの疾患はアルコール依存症に多く合併しており、入院中の食事を含めた生活指導の重要性がある。また、肝臓病食については前年度比145%と大幅に増加した。食事の指示としては肝不全によるBCAA製剤を使用するための低タンパク食の指示が多く患者の重症化がすすんでいる事がうかがえる。また、近年の特徴として高齢者等の嚥下障害を有する患者への「とろみ調整」など入院患者各個々人に適応した、きめこまかい食事指示が増加していることがあげられる。

当院の特徴として、依存症の症状に応じた形態（キザミ食等）や食器（メラミンやディスポ食器の使用）、食事時間（分割食、朝食）への対応、嗜好への対応、作業所参加や治療プログラムのための弁当の調整などきめ細かな個人対応食を実施している。さらに、依存症専門病院として食材や調味料等についても配慮しており、調理技術の高度化と専門性が要求されている。また、入院生活を潤いあるものにするため、季節感を取り入れた行事食を年7回実施、選択食を80回実施した。栄養相談関連では、入院患者に対する生活支援の一環として「教育プログラム」に参加し、自立に向けた食事指導を行っている。



区 分		年 度		20年度	19年度	対前年度比 (%)	
一 般 食	常 食			34,601	37,663	91.9	
	軟 流 動 食	全 粥 食			8,301	4,865	170.6
		七 分 粥 食			0	0	—
		五 分 粥 食			142	28	507.1
		三 分 粥 食			32	0	—
		ミ キ サ ー 食			0	0	—
		流 動 食			25	27	92.6
		小 計			8,500	4,920	172.8
計			43,101	42,583	101.2		
特 別 食	加 算 で き る も の	糖 尿 病 食			5,616	6,487	86.6
		高 脂 血 症 食			0	0	—
		肝 臓 病 食			713	491	145.2
		膵 臓 病 食			240	269	89.2
		腎 臓 病 食			5	0	—
		潰 瘍 食			0	0	—
		通 風			0	0	—
	小 計			6,574	7,247	90.7	
	な 加 算 も で の き	高 血 圧 食			5,471	3,739	146.3
		肥 満 食			0	0	—
		アルゲン除去食			0	0	—
		小 計			5,471	3,739	146.3
	計			12,045	10,986	109.6	
	合 計				55,146	53,569	102.9
患 者 食 弁 当				(312)	(626)	49.8	
検 食 ・ 保 存 食				2,190	2,196	99.7	
職 員				(37) 12,048	(53) 13,427	(69.8) 89.7	
総 合 計				69,384	69,192	100.3	

\*患者食弁当( )は再掲

\*職員( )は実習生

## イ 栄養指導実施状況

区 分 年 度	入 院				外 来				合 計			
	集 団 指 導		個 別 指 導		集 団 指 導		個 別 指 導		集 団 指 導		個 別 指 導	
	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数
20	4	184	1	1	0	0	23	23	4	184	24	24
19	4	171	3	3	0	0	20	20	4	171	29	29
対前年度 比 (%)	100.0	107.6	33.3	33.3	—	—	115.0	115.0	100.0	107.6	82.8	82.8

平成20年度 **業 務 年 報**

---

平成21年10月発行

神奈川県立精神医療センター

横浜市港南区芹が谷 2-5-1

TEL 045-822-0241

印刷所 中川印刷株式会社

横浜市中区山田町 7-1

TEL 045-261-2101

---



神奈川県

病院事業庁 精神医療センター

横浜市港南区芹が谷2-5-1 〒233-0006 電話(045)822-0241(代表) FAX(045)825-3852